科目名(英)	子ども家庭福祉	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	丑久保 行紀
(50)	Child and family welfare	授業	講義	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	百円 9戈	時間	30	曜日·時間	水曜 2限

児童養護施設の職員として15年の勤務経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目では、子どもの人権擁護について理解し、子ども家庭福祉について基礎的理解を深めるとともに、多様な現状と課題を主体的に捉え考える力を養う。 子ども達を取り巻く環境・福祉サービス・多様なニーズなどを現場経験から得た知識を活かし、実践的でわかりやすい説明をこころがけ質疑を通して、知識の獲得・記憶の定着を図れるような授業を行う。

【到達目標】

- ・子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解する。
 ・子ともの人権擁護について理解する。
 ・子とも家庭福祉の制度や実施体系等、現状と課題、動向と展望について理解する。

	科書・教材・参考書】 子どもの福祉ブックス 社会的養護 I 」みらい		おける学習】 理解のため、予習・復習の大切さを説明し、必要知識獲得を促す。
□	授 業 概 要	回	授 業 概 要
1	【到達目標】 子ども家庭福祉の理念と概念を理解するための方法と、子どもをとりまく現 代的課題の学びを進めることができる。 【授業内容】 子ども家庭福祉の理論と概念とは・現代的課題とは・ 「児童の最善の利益」とは	9	【到達目標】 家庭の中で生じている子ども虐待・ドメスティックパイオレンスについて現状 を理解し、影響・防止のための取り組み等を学ぶ。 【授業内容】 子ども虐待、その定義と概要について・ 子ども虐待防止の取り組みについて
2	【到達目標】 子ども家庭福祉における歴史的変遷と、諸外国の特徴を理解できる。 【授業内容】 諸外国の特徴について・子ども家庭福祉の歴史的展開とは・ 支援対象の多様化について	10	【到達目標】 貧困の現状や貧困の中で子どもにどのような影響をもたらすのか、また格差を解消するための保育所の可能性について学ぶ。 【授業内容】 貧困について・子どもの貧困対策について・貧困対策としての保育
3	【到達目標】 子どもの人権擁護のしくみの構築過程を理解し、児童の権利に関する条約 について学ぶ。 【授業内容】 子どもの人権擁護の歴史について・児童の権利に関する条約・ 子どもの人権擁護に関する課題について	11	【到達目標】 社会的養護の概要やその方向性等を学ぶとともに、保育士としてもたずされ りうる社会的養護下の子ども達を取り巻く状況を学ぶ。 【授業内容】 社会的養護について・社会的養護の展開について
4	【到達目標】 子ども家庭福祉サービスが適切に提供されるための理念や実施主体、関係 機関を定める法律や制度をふまえ、実施体制全般を学ぶ。 【授業内容】 子ども家庭福祉の法制度について・実施体制と専門職について	12	【到達目標】 障害児への支援の変遷について振り返ることを含めて、今後の障害支援における普通の子どもとしての配慮された支援について学ぶ。 【授業内容】 障害児の福祉について・障害児支援、体制について
5	【到達目標】 児童福祉施設の種類や目的および役割、専門職の役割や保育士の位置づけや専門職倫理について学び、理解を深める。 【授業内容】 児童福祉施設の種類、機能について・子ども家庭福祉の専門職・保育士の位置づけと役割について	13	【到達目標】 非行の現状や支援制度について学び、少年たちによりよい環境を提供し成 長を促す育ち直しの支援の意味やしくみを理解する。 【授業内容】 少年非行の現状について・非行相談と施設の関係について・感化院につい て
6	【到達目標】 少子高齢化の要因や子育て支援が必要とされる背景を学び、子ども・子育 て支援体制の概要を理解する。 【授業内容】 少子高齢化について・子ども子育て支援制度について	14	【到達目標】 子育で関連3法が成立し、認定こども園制度の見直しとともに、幼保連携という考え方について理解を深める。 【授業内容】 地域の子育て支援対策の流れについて・子ども、子育て支援制度について幼保連携について
7	【到達目標】 母子保健、子どもの健全育成という視点から、妊娠~学童期までの支援体制を学び、今後の課題について理解する。 【授業内容】 母子保健について・児童健全育成について・母子保健サービスの動向について	15	【到達目標】 保育現場の内外で展開されるさまざまな連携・協働やネットワークについて 学ぶ。 【授業内容】 連携、協働の必要性について・実践場面における連携、協働について・連 携、協働の留意点について
8 【特記事項	【到達目標】 制度をふまえて、多様な保育ニーズに対応するためのしくみや、さまざまな 保育携帯について学び、障害児支援の現状を理解する。 【授業内容】 保育ニーズに対応するためのしくみについて・教育、保育施設について・障 害児支援の現状について	〇成績評価 点数100~9 点数 79~7 点数 69~6 点数 59点	- よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。

科目名(英)	子ども家庭支援論	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	中西 仁美
(***/	Child and family care support	授業	講義	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	百円 9戈	時間	30	曜日·時間	木曜 2限

保育士としての勤務経験を通し、保育現場における各家庭への支援経験を持つ。

【授業の学習内容】(**どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか**)

家庭への支援について保育現場での実体験を踏まえた情報を提供するとともに、現場にいるからこそわかる必要な専門性をより詳しく伝えていく。本科目では、子育て家庭につい て理解を深め、保育士の専門性を活かした多様な支援を実践できるよう、実際のエピソードや様々な課題について理解・考察を深める。

【到達目標】

10子育で家庭に対する支援の意義・目的を理解する。 ②保育の『専門性を活かした子ども家庭支の意義と基本について理解する。 ③子育て家庭に対する支援の体制について理解する。 ④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。

【使用教和	科書・教材・参考書】	【授業外に	おける学習】		
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 ・授業の進め方について知る ・子ども家庭支援の意義と役割について理解する 【授業内容】 ・オリエンテーション ・子ども家庭支援の意義と必要性	9	【到達目標】 ・保育ニーズが増大している背景を知り、保育所が求められる役割を理解する 【授業内容】 ・保育・預り型支援		
2	【到達目標】 ・子ども家庭支援の目的を知り、保育士による子ども家庭支援の内容を理解する 【授業内容】 ・子ども家庭支援の目的 ・子ども家庭支援の目的 ・子ども家庭支援の対象と内容	10	 【到達目標】 ・様々なご家庭があることを理解し、それぞれに合った家庭支援の方法を知る 【授業内容】 ・ひとり親家庭への援助 特別な理解と支援の必要な子どもを育てる家庭支援 		
3	【到達目標】 ・保育士に求められる基本的態度を知り、理解すると共に自分に必要な姿勢を考える 【授業内容】 ・保育士に求められる基本的態度 人の気持ちを理解する為の基本的態度	11	【到達目標】 ・子育て家庭支援の政策動向を知り、理解できる 【授業内容】 ・子育て家庭に対する支援の体制		
4	【到達目標】 ・共感的理解について理解し、保育士として必要な共感的理解を考える 【授業内容】 ・グループワーク/事例で考える	12	【到達目標】 ・子育て家庭支援について理解するとともに、子育てしやすい社会について自分なりに考える 【授業内容】 ・定期試験のルーブリック評定 世界の子育て		
5	【到達目標】 ・伝承的な育児法や伝承的な遊びに含まれている内容を理解し、その意義と保育の中で活用すべき方法を考える 【授業内容】 ・育児モデルとなる伝承の育児法	13	【到達目標】 ・子育て家庭支援について理解し、子育てしやすい社会について、自分ないの考えをまとめる 【授業内容】 ・世界の子育て		
6	【到達目標】 ・保育所利用家庭への支援の在り方について理解する ・関連機関との連携の大切さや必要性を理解する 【授業内容】 ・主な関連機関との連携 保育所利用家庭への支援	14	【到達目標】 ・子育て家庭支援の考えをもとに、子育てしやすい社会について、自分なりの考えをまとめる 【授業内容】 ・自分なりの考えをまとめる		
7	【到達目標】 ・子育て家庭支援制度を知り、子どもが育つ為の重要な役割であることを理解する 【授業内容】 ・子育て家庭支援の制度	15	【到達目標】 ・子育て家庭支援の考えをもとした、子育てしやすい社会について様々な考え方を知る 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 ・子育て家庭支援の基本を理解し、保育士に求められる基本的態度について説明することができる 【授業内容】 中間試験/記述	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項	頁】				

科目名	子ども家庭支援の心理学	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	出口 加奈子
(英)	Psychology of Child and family care	授業	-# ¥	総単位		開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	講義	時間	30	曜日·時間	木曜 3限

保育士資格と幼稚園・小学校教諭免許を有し、社会福祉協議会付設の幼児相談室(主に幼児のことばの相談)において親子の相談業務を担当

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、生涯発達の理解を踏まえ、家族・家庭・親子関係の理解を深め、家庭の支援について体系的に学習する。各人が実際の現場で役立つ学びとなるよう担当教員の経験を 織り交ぜながら、支援をする際に子どもがどの発達段階にあるか、どのような関わりが必要な段階であるかを理解できるように学習を進めていく。子どものより良い育ちを保障する ために、保育者はどのように子育てを支援していけばよいか、「支援する」とはどういうことかを共に考えていきましょう。

【到達日標】

- 1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 4. 子どもの精神保健とその課題について理解する。

	枓書・教材・参考書】 F時配布「新基本保育シリーズ®保育の心理学」中央法規	日常生活の	おける学習】 中で見かける親子や家族の様子を注視し、TV・新聞・ネット等で報道される- こ関する事柄について気になった点を書き留めておく。		
□	授 業 概 要	0	授 業 概 要		
	【到達目標】 乳児期の発達の特徴について説明することができる。乳児期の発達をふまえ、養育者の関わりについて考えを述べる。		【到達目標】 ライフコース「家庭と仕事」に関する時事問題を調べ、考えを述べる。「親としての育ち」それを支援する保育者の役割を理解できる。		
1	【授業内容】 乳児期の言葉の発達、アタッチメント等について学ぶ。発達キーワードをもと に、実習等でのエピソードを取りあげ考察する。	9	【授業内容】 「家庭・子育てと仕事」に関するキーワードをもとに調べ学習を行う。親と保育者が子育てのパートナーとなる園での子育て支援を学ぶ。		
0	【到達目標】 幼児期の認知、言語の発達について説明することができる。幼児期の発達 をふまえ、養育者の関わりについて考えを述べる。	10	【到達目標】 家庭を取り巻く「地域社会」における子育ての問題点を列記する。地域における切れ目のない子育て支援の必要性を理解できる。		
2	【授業内容】 幼児期の認知発達段階、心の理論について学ぶ。子どもの言葉を育む保育 者の関わりについて具体的な事例を考察する。	10	【授業内容】 家庭を取り巻く「地域社会」の変化を分析し考察する。子ども・子育て支援業制度の概要について学ぶ。		
	【到達目標】 幼児期の社会性、自我の発達について説明することができる。幼児期の発 達をふまえ、養育者の関わりについて考えを述べる。		【到達目標】 多様化する家庭のありよう、家族の関係について理解することができる。		
3	【授業内容】 保育場面における遊びの発達についてケーススタディ。幼児期の自我の発達について保護者からの相談事例を考察する。	11	【授業内容】 ひとり親家庭、ステップファミリー、里親家庭について学び、具体的な支援に ついて調べる。		
4	【到達目標】 学童期の認知、社会性、自己の発達について説明できる。乳幼児期から学 童期へ移行するうえでの諸問題について考える。	10	【到達目標】 虐待傾向の家庭の予防的支援、障がいのある子どもと保護者への支援にいて理解することができる。		
4	【授業内容】 学童期の「対人関係」「道徳性」について学ぶ。小学校教育との接続、保幼 小の連携について具体的な取り組みを調べる。	12	【授業内容】 虐待してしまう親への支援の必要性をふまえ、ペアレントプログラムを調べる。親が子どもの障がいを受容する過程に寄り添う支援について学ぶ。		
_	【到達目標】 青年期の発達の特徴について説明することができる。青年期の発達課題に ついて理解することができる。	10	【到達目標】 子どもの生活・生育環境とその影響について理解することができる。		
5	【授業内容】 青年期の認知、自己の発達について学ぶ。青年期の対人関係の変化、臨床 的課題の近年の変化を取りあげる。	13	【授業内容】 乳幼児期の子どもの育ちの基本について学ぶ。「様々な世代が集う地域の 居場所づくり」の意義について考察する。		
	【到達目標】 生涯発達の視点から成人期・中年期・高齢期の発達について説明できる。 成人期・中年期・高齢期の発達課題について理解する。		【到達目標】 発達が気になる子どもをどのようにとらえるか、理解することができる。		
6	【授業内容】 成人期・中年期・高齢期における発達理論について学ぶ。高齢者との関わり一世代間交流の取り組みについて調べる。	14	【授業内容】 子どものこころの健康に関わる問題、専門機関との連携について学ぶ。		
_	【到達目標】 家族の定義・機能の変化について説明することができる。なぜ現代社会で家 庭支援が求められるのか、考えを述べる。		【到達目標】 これまで習得してきた知識や考察ポイントを確認することができる。		
7	【授業内容】 家族の定義、多様化する家族形態、家族の教育機能・保護機能、これらの 変化をふまえ、家族支援の必要性を考察する。	15	【授業内容】 筆記試験による定期試験。これまでの授業を振り返り、試験解説		
	【到達目標】 乳幼児期の「家族」について、子ども・親、双方の視点から考えを述べる。これまでを振り返り、理解できなかった事柄を確認する。	【評価につ	」 いて】 よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。		
8	【授業内容】 これまで学んだことをふまえ、家族関係・親子関係をとらえ直す。(中間試験)	○成績評価 点数 100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価			
【特記事項	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	■点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名(英)	子どもの食と栄養 Nutrition for children	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	六角 はち美
(50)	Nutrition for children	授業	演習	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	澳自	時間	30	曜日·時間	火曜 1限

20年以上にわたり病院(産婦人科、小児科)・保育園・介護施設での栄養管理は勿論、調理・献立作成や衛生管理・発注作業・栄養相談など幅広い経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

来養学は体と食の関係性を学ぶ事が大切です。自分の体の中で起こっていることにまずは興味を持てるように、日常で行える体の変化を体験していただきます。 五大栄養素とはそれぞれどんな役割を持っていて、体に吸収される流れはどんな物なのかを体系的に学んで行きます。そうすることにより、食べ物が体の1部になったり、エネル ギーとして使われたりなどリアルに理解できるようになります。講師が実際に2000人以上の食事相談をうけてきた中で得た内容をわかりやすく、スライドや板書を使い、授業を展開 していきます。

【到達目標】

1年生で学んだ知識をもとに、日本人の食事摂取基準を学び栄養素の必要量を知り、健康的な食生活を考える軸を身に付ける。さらにライフステージ別でそれぞれのステージに必要な食の知識をつけ、現場に立った時それぞれの対象者にあわせた適正な判断ができるようにする。

史用软件	科書·教材·参考書】		おける学習】
		日々自分の	食事と体調の変化に意識を向け食と身体のつながりをリアルに感じる。
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要
	【到達目標】		【到達目標】
_	五大栄養素について全体的に説明することが出来る。 食事バランスガイドが使える。		栄養補完に使えるお助け3品と粥が炊けるようになる。
1	【授業内容】	9	【授業内容】
	1年時の復習・栄養学の基本のふりかえり 食事バランスガイドを使って食事の振り返りをする。		調理実習を行う①
	【到達目標】		【到達目標】
	乳児期(特に離乳食やアレルギー)の体や口腔の発達と必要な栄養素を説明できる①		偏食や発達過程において栄養が不足したときや予防のためにレシピ提 ができる。
2	【授業内容】	1 0	【授業内容】
	ライフステージ栄養①		調理実習を行う②
	乳児期(特に離乳食)の体の発達と必要な栄養素を学ぶ。		試食と実習の振り返りを行う。
	【到達目標】 乳児期(特に離乳食やアレルギー)の体や口腔の発達と必要な栄養素を説		【到達目標】 妊娠期の体(ホルモン)の変化と、どのような食生活が必要か説明できる
2	明できる②	1 1	
3	【授業内容】	1 1	【授業内容】
	ライフステージ栄養② 乳児期(特に離乳食)の体の発達と必要な栄養素を学ぶ。		ライフステージ栄養① 妊娠期の体(ホルモン)の変化と産後に必要な栄養の知識を学ぶ。
	【到達目標】		【到達目標】
	幼児期の成長に必要な栄養素の特徴を説明できる。		現場での給食会議で自分の考えをプラスして案が出せるようになる。
4	【授業内容】	1 2	【授業内容】
	ライフステージ栄養③		食育の基本(食育基本法、食育の意義など)について学ぶ。
	幼児期の成長を知り、栄養の摂り方全般を学ぶ。		行事食について学ぶ。
	【到達目標】		【到達目標】
	食育の一環として味噌作りができるようになる。		食品群を使って子供と食事(栄養バランス)チェックが出来る。 栄養バランスが整った献立を話し合って案を出し合える。
5	【授業内容】	1 3	【授業内容】
	実習に向けて衛生管理について確認し、実習内容についての説明を行う。		3つの食品群・4つの食品群・6つの基礎食品の使い方を学ぶ。
	味噌作り実習を行う。		栄養バランスを考えた献立作成(グループワーク)を行う②
	【到達目標】		【到達目標】
	学童期の成長に必要な栄養素の特徴を説明できる。		栄養バランスが整った献立を実際に作成できる。
6	【授業内容】	1 4	【授業内容】
	ライフステージ栄養(4)		栄養バランスを考えた献立作成(グループワーク)を行う①
	学童期の成長を知り、栄養の摂り方全般を学ぶ。		2008: - NE (2761500) # 1F190 (778 - 7.7 7.7 6.11.7 (1)
	【到達目標】	-	│ 【到達目標】
	思春期はどのような食生活が必要か説明できる。		第1回~14回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行い
7		1 5	れぞれ説明できる。
1	【授業内容】	1.0	【授業内容】
	ライフステージ栄養⑤ 思春期の体の変化と、必要な栄養の知識を学ぶ。		定期試験を行う。
		Van inn .	
	【到達目標】	【評価につ	いて」
	1~7回目での内容が説明できる。 調理実習のイメージを描ける。	筆記試験に	よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
8	[授業内容]	〇成績評価	
	中間試験		0点=A評価 30点=B評価
	実習に向けて衛生管理について確認し、実習内容についての説明を行う。	点数 79~7	70点=C評価
寺記事			60点=D評価 以下=F評価
	· ·-	■飛致 ひり 尽	以下一F評価 %に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

科目名(英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	平岡 麻依子
(,,,,	Childhood Care and Education	授業	演習	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	烘日	時間	30	曜日·時間	月曜 1限

公立保育所に長年勤務し、0歳児から5歳児までの保育に携わる。日々の保育の中で、一人ひとりの成長を促す保育活動を行うとともに、行事の企画運営も行ってきた。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目では、子どもへの関わり方や保育活動の計画・実践について学びます。実技やグループワークを通じて、保育の楽しさを体感しながら、実践力を身につけます。自ら考え、解 決策を導いていく経験、相手の意見に耳を傾けともに作り上げていく経験を重ね、保育現場で大切なチームワークを養ってほしい。

【到達目標】

「総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。

	環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。 		
令和5年度:	科書・教材・参考書】 最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン/幼稚園教育要 所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)	【授業外に	たおける学習】
	授 業 概 要	□	授 業 概 要
1	【到達目標】 授業の目的と進め方を理解し、挨拶や自己紹介の方法を習得することができる。 【授業内容】 授業の概要説明、挨拶と自己紹介の方法、グループワーク①「理想の保育園を考えよう!」	9	【到達目標】 エプロンシアターの特徴と活用方法を理解し、アイデアを出す力を養うことができる。 【授業内容】 エプロンシアターの基礎知識、テーマ決定、アイデア出し、デザイン決定。
2	【到達目標】 糊・ハサミの安全な使用方法と子どもへの効果的な伝え方を理解できる。 【授業内容】 糊・ハサミの特性、誤使用時のリスク、伝え方の工夫を考え、そのような制作 ができるか案を出す。	10	【到達目標】 エプロンシアターの制作を通じて表現力と創造力を育むことができる。 【授業内容】 制作活動。
3	【到達目標】 糊を使った制作活動の指導案を作成し、実践する力を養うことができる。 【授業内容】 指導案作成、制作活動、制作物の発表。	11	【到達目標】 エプロンシアターの制作を通じて表現力と創造力を育むことができる。 【授業内容】 制作活動。
4	【到達目標】 ハサミを使った制作活動の指導案を作成し、実践する力を養うことができる。 【授業内容】 指導案作成、制作活動、制作物の発表。	12	【到達目標】 エプロンシアターの制作を通じて表現力と創造力を育むことができる 【授業内容】 仕上げ作業、発表準備。
5	【到達目標】 散歩の目的と、楽しく安全な散歩の仕方を知ることができる。 【授業内容】 実際に道を歩き、危険箇所の確認や子どもの目線での発見。	13	【到達目標】 エプロンシアターの指導案を作成し、実践に備える。 【授業内容】 指導案作成、グループ内発表リハーサル。振り返り。
6	【到達目標】 散歩マップを作成し、実践する力を養うことができる。 【授業内容】 散歩マップの作成。発表。	14	【到達目標】 エプロンシアターを実践し、表現力と指導力を発揮することができる。 【授業内容】 定期試験実技発表①
7	【到達目標】 梅雨の制作を取り入れた保育内容をデザインすることができる。 【授業内容】 制作内容を決め。ねらいのある保育計画づくり。	15	【到達目標】 エプロンシアターを実践し、表現力と指導力を発揮することができる。 【授業内容】 定期試験実技発表②
8 【特記事項	【到達目標】 指導案に沿って制作活動を実践し、指導力を発揮することができる。 【授業内容】 中間試験	○成績評価 点数100~9 点数 89~ 点数 79~ 点数 69~ 点数 59点	- よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。

科目名(英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	浅子 元・川村 美穂
(***)	Childcare contents	授業	演習	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	烘日	時間	30	曜日·時間	月曜 3限

保育者養成校にて23年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を15年行う。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、1年次に習得した基礎的なピアノの実力を基に、実習で使用する「季節の歌」の習得、リズム遊び・リトミックの初歩の段階の指導ができるように学ぶ。また、オペレッタの 製作と発表までの取り組みを通じて、保育内容の充実や保育者の役割についても総合的に学ぶ。

【到達月標】

- 保育現場の実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を習得する。

	科書·教材·参考書】		こおける学習】				
	うた200」チャイルド社 イエルピアノ教則本」全音楽譜出版社	オペレッタ製作で学ぶ各演目の原作を読むことや、映画を観ることを推奨します。					
D	授業概要		授 業 概 要				
ഥ	[到達目標]	Ш	[到達目標]				
	オリエンテーションを行い、前期で学習する内容と、年間到達目標を理解する。	_	オペレッタ製作④				
1	【授業内容】 リトミック・・・(ティーチング)0歳児、1歳児のリトミックの活動を実演し習得する。	9	【授業内容】 「そんごくう」、「つるのおんがえし」の作成。クラス全体で実施する。				
	【到達目標】 リトミック・・・(ティーチング)1歳児、2歳児のリトミックの活動を実演し習得する。		【到達目標】 オペレッタ製作⑤				
2	【授業内容】 親子リトミック(1歳児、2歳児)で出来ること、出来ないことの理解をする。	1 0	【授業内容】 「オズのまほうつかい」、「アラジン」、「竹取物語」の作成。				
2	【到達目標】 リトミック・・・(ティーチング)2歳児、3歳児のリトミックの活動を実演し習得する。	1 1	【到達目標】 オペレッタ製作⑥				
3	【授業内容】 幼児リトミック(2歳児、3歳児)。主張すること、こだわりの理解をする。	1 1	【授業内容】 「オズのまほうつかい」、「アラジン」、「竹取物語」の作成。				
4	【到達目標】 リトミック・・・(ティーチング)4歳児、5歳児のリトミックの活動を実演し習得する。	1 2	【到達目標】 オペレッタ製作⑦				
4	【授業内容】 幼児リトミック(4歳児、5歳児)。子供たちに伝える工夫、大切な言葉の理解 をする。		【授業内容】 「オズのまほうつかい」、「アラジン」、「竹取物語」の作成。				
	【到達目標】 リトミック・・・(ティーチング)指導案の作成。4歳児のリトミックを考える。		【到達目標】 オペレッタ製作®				
5	【授業内容】 指導案を作成し、4歳児のリトミックのロールプレイングを実施する。	1 3	【授業内容】 「オズのまほうつかい」、「アラジン」、「竹取物語」の作成。				
	【到達目標】 オペレッタ製作①		【到達目標】 オペレッタ製作⑨				
6	【授業内容】 「そんごくう」、「つるのおんがえし」の作成。クラス全体で実施する。	1 4	【授業内容】 「オズのまほうつかい」、「アラジン」、「竹取物語」の作成。				
	【到達目標】 オペレッタ製作②		【到達目標】 オペレッタ製作⑩				
7	【授業内容】 「そんごくう」、「つるのおんがえし」の作成。クラス全体で実施する。	1 5	【授業内容】 「オズのまほうつかい」、「アラジン」、「竹取物語」の作成。				
	【到達目標】 オペレッタ製作③	【評価につ					
8 【授業内容】 「そんごくう」、「つるのおんがえし」の作成。クラス全体で実施する。			実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 〇成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=O評価				
特記事	項】		60点=D評価 私以下=F評価				
14 110 3.							

科目名(英)	障害児保育 Disabled Children Instruction	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	社会福祉法人共愛会
15.41	Disabled Official Histadectori	授業	演習	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	30	曜日·時間	水曜 1限

障害児入所施設の現職講師

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、障害児保育の基本理念や歴史的変遷について理解を深め、個々の特性を理解し、その保育の実際や援助、家庭や関係機関との連携について学ぶ。学生はこの授業を 通して障害のある子どもの保育の方法を知り、包括的な支援方法を学んでほしい。多様な発達特性を理解し、生きづらさや困り感を覚える子どもの環境や周囲のネットワーケづくり の重要性を知り、連携の上で活かせる計画と記録の策定方法をグループワークを通して学べるように指導する。

【到達日標】

- ・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 ・障害児、特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。また家庭への支援や関係機関との連携を理解する。 ・障害児、特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。

	科書・教材・参考書】 呆育シリーズ①障害児保育」中央法規	【授業外における学習】 授業ノートを定期的にまとめ、学びを確かめる習慣を身につけること。				
	授 業 概 要	□	授 業 概 要			
1	【到達目標】 授業の目的を理解することができる。特別な支援を必要とする子どもについて自身の考えをまとめることができる。 【授業内容】 障害児保育を学ぶ意義	9	【到達目標】 これまでの学びを踏まえ障害特性について記述することができる。自身の障害児保育への考えをまとめることができる。 【授業内容】 中間テスト インクルーシブな遊び			
2	【到達目標】 生活機能分類について知り説明することができる 【授業内容】 ・「障害」の概念 ICIDHからICFへ	10	【到達目標】 保育現場の遊びから子どもの発達を促す遊びと誘い掛け・配慮の視点を学び記述することができる 【授業内容】 感覚統合・遊びのデザイン・保育士の専門性			
3	【到達目標】 障害児保育の歴史的変遷を理解しまとめることができる 【授業内容】 障害児保育の歴史的変遷	11	【到達目標】 保育士としての適切な関わり、インクルージョンな支援について自分の考えをまとめることができる。 【授業内容】 子ども同士の関わり合いと育ち合い 保護者の障害授業と子育て支援			
4	【到達目標】 合理的配慮の考え方について知り、自身の考えをまとめることができる。 【授業内容】 障害者差別解消法 合理的配慮	12	【到達目標】 聴覚障害・視覚障害の特性、関わり方について理解する。アセスメントの視点について必要な事柄をまとめることができる 【授業内容】 言語の障害(構音障害・吃音・緘黙)			
5	【到達目標】 発達障害の概念を理解し、特性や支援の方法をまとめることができる 学習障害の特性と支援について理解しまとめることができる 【授業内容】 発達障害・発達障害者支援法 局限性学種障害(learning disability:LD)	13	【到達目標】 障害者差別解消法を知り、目的を理解することができる。保育士として多様な子どもに関わる上で必要な事柄をまとめることができる。 【授業内容】 障害者差別解消法・マイクロアグレッション 3つの手帳・障害福祉の基本法令			
6	【到達目標】 注意欠如多動性障害の特性と支援の方法について理解し、まとめることが できる 【授業内容】 第6講 発達障害児の理解と援助 注意欠如多動性障害: Attention deficit hyper activity disorder ADHD	14	【到達目標】 発達特性・個人特性を踏まえ個別の指導計画を策定することができる。多れな子どもが育ちあう環境構成の工夫をまとめることができる 【授業内容】 個別の支援計画の策定の基礎			
7	【到達目標】 自閉スペクトラム症の特性と支援について理解しまとめることができる 【授業内容】 第6講 発達障害児の理解と援助 (自閉スペクトラム症: Autism Spectrum Disorder:ASD)	15	【到達目標】 これまでの学びを踏まえ障害特性・発達支援について記述しまとめることができる。自身の障害児保育への考えをまとめることができる。 【授業内容】 定期試験 前期の振り返り			
8	【到達目標】 知的障害の特性と様々な支援方法を理解しまとめることができる。 【授業内容】 知的障害児の理解と援助		りいて】 よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 う 100点 = A評価 80点 = B評価 70点 = C評価			
【特記事】		点数 69~6 点数 59点	80点=D評価 以下=F評価 9%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名(英)	社会的養護 II	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	丑久保 行紀
()()	Institution II	授業	演習	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	形態	戌 百	時間	30	曜日·時間	水曜 3限

児童養護施設の職員として15年の勤務経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、社会的養護の基礎的な内容を理解し、その実際や支援の方法について学ぶ。また社会的養護に関わる専門的知識・技術も身に着けてほしい。現場経験をもとに、福祉 の実際をイメージして学びを深めていけるよう授業を展開する。

【到達目標】

- ・子ども理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 ・社会的養護における計画、記録、自己評価について理解する。相談援助の方法、技術について理解する。 ・社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。

	科書・教材・参考書】 ・子どもの福祉ブックス 社会的養護 I 」みらい		おける学習】 を読んでおくことが望ましい。社会的養護に関わる新聞やネット記事を読む。
回	授業概要		授業概要
1	【到達目標】 社会的養護における子どもの権利擁護の基本を理解する。施設における権利擁護の取組み・支援について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の機能・役割と課題、子どもの権利擁護	9	【到達目標】 アセスメントとは何かについて理解する。個別支援計画(自立支援計画)の内容について理解し、作成することができる。 【授業内容】 アセスメントと個別支援計画の作成
2	【到達目標】 社会的養護のもとで生活する子どもの特徴、理解の仕方と背景を理解する。 社会的養護を必要とする子どもの家庭環境を理解する。 【授業内容】 社会的養護における子どもの理解	10	【到達目標】 社会的養護における記録の意義と役割、自己評価の意義・方法について理解できる。 【授業内容】 記録及び自己評価
3	【到達目標】 社会的養護における日常生活支援の特徴について理解し、日常生活での支援のあり方について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の内容①日常生活支援	11	【到達目標】 社会的養護における保育の専門性・保育士実践を理解する。虐待を受けた 子どもへの専門性を生かした対応を理解できる。 【授業内容】 社会的養護における保育の専門性にかかわる知識・技術とその実践
4	【到達目標】 社会的養護における心理的支援の目的と特徴、心理的支援を考える視点と 実際、養育者支援について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の内容②心理的支援	12	【到達目標】 相談援助(ソーシャルワーク)の定義・体系について理解し、実践のプロセスについて理解できる。 【授業内容】 社会的養護にかかわる相談援助の知識・技術とその実践
5	【到達目標】 社会的養護の子どもの自立支援のあり方について理解する。支援困難な発達課題を持つ子どもへの自立支援を理解できる。 【授業内容】 社会的養護の内容③自立支援	13	【到達目標】 社会的養護実践におけるソーシャルワークを理解し、コミュニケーションスキル、ジェノグラムとエコマップの作成方法を理解できる。 【授業内容】 社会的養護におけるソーシャルワーク (知識・技術とその応用)
6	【到達目標】 施設養護(乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設)の支援対象と生活特性について理解し、今後の課題について理解できる。 【授業内容】 施設養護の生活特性および実際①乳児院等	14	【到達目標】 家庭を支援することはどういうことか、支援チームを作る事の意義、総合的なアセスメントについて理解できる。 【授業内容】 社会的養護における家庭支援
7	【到達目標】 施設養護(児童心理治療施設・児童自立支援施設・障害児施設)の支援対象と支援内容・機能について、理解できる。 【授業内容】 施設養護の生活特性および実際②障害児施設等	15	【到達目標】 「新しい社会的養育ビジョン」のを踏まえ、今後の社会的養護の課題と展望について、理解できる。期末試験に答えることができる。 【授業内容】 今後の社会的養護の課題と展望・期末試験
8	【到達目標】 家庭養護(特にファミリーホーム・養子縁組)の制度と実際について、理解する。これまでの講義を振り返り、答えることができる。 【授業内容】 家庭養護の生活特性および実際②・中間試験	〇成績評価 点数100~9 点数 89~8 点数 79~	- よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 0点=A評価 30点=B評価 70点=C評価
【特記事項 講義資料(3	項】 は保存して復習用に活用してほしい。	点数 59点	80点=D評価 以下=F評価 96に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

科目名	保育実習指導I	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	大山 華奈
(英)	Guidance for Institution Practical	授業	演習	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	烘日	時間	30	曜日·時間	火曜 2限

保育士として現場での実務経験あり。

【授業の学習内容】(**どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか**)

保育業務や実習指導を経験している教員が、実習に向けた書類の書き方や教材製作などの実習準備を指導する。十分な準備を行い、実習に対する不安を解消し、自身を持って 現場実習に臨めるようにする。また、現場での学びを今後の保育に活かせるよう、十分な振り返りを行う。

【到達目標】

・ ①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 ②観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。 ③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育 及び保護者への支援について総合的に学ぶ。 ④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。 ⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学 ぶ。

•「学生•養」	料書・教材・参考書】 成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」 『パーフェクトガイド』		:おける学習】 る調べ学習、準備を各自で行うこと。期日を守って準備ができるように心掛け			
□	授 業 概 要	回	授 業 概 要			
1	【到達目標】 実習 I (施設)を行う意義を理解し、実習目的を明確にする事ができる。 1年間の実習スケジュールを理解し見通しをもつことができる。 【授業内容】 種別理解ワークシートの振り返り、実習スケジュールの把握、実習先発表	9	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。 【授業内容】 実習前試験①筆記試験、実習日誌の点検			
2	【到達目標】 施設実習について具体的なイメージができ、準備を始める心構えができる。 自分の実習先の施設について知り、実習に必要な知識を得る。 【授業内容】 実習先確認・分野理解(実習内容、根拠法やガイドライン) グループワーク(施設の目的・役割、1日の流れ、利用者・保育士の理解)	10	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。 【授業内容】 実習前試験②服装検査 決意表明 ★中間試験			
3	【到達目標】 施設実習について具体的なイメージができ、準備を始める心構えができる。 自分の実習先の施設について知り、実習に必要な知識を得る。 【授業内容】 グループワーク(実習に対する思いやイメージの共有・目標設定)	11	【到達目標】 施設実習について振り返り、クラスメイトと共有することで、気づき・学びを深める事ができる。 【授業内容】 グループワーク(実習の振り返りの共有)			
4	【到達目標】 実習施設を理解し、実習に対する目標を明確に表記する事ができる。 【授業内容】 実習施設についての調べ学習、実習日誌「実習の目標」を作成	12	【到達目標】 施設実習について振り返り、クラスメイトと共有することで、気づき・学びを深める事ができる。 【授業内容】 グループワーク(実習の振り返りの共有)			
5	【到達目標】 実習日誌の意義、書き方について理解する事ができる。 オリエンテーションにむけての実習準備を行うことができる。 【授業内容】 実習日誌の配付、取扱い・記載の留意点の確認 オリエンテーションの目的や方法の確認	13	【到達目標】 施設実習について振り返りをまとめることで、自身の学びを深め今後の課題へつなげる事ができる。 【授業内容】 実習の振り返りの記録 ★定期試験			
6	【到達目標】 実習日誌の意義、書き方について理解する事ができる。 【授業内容】 時系列日誌の記録練習	14	【到達目標】 施設実習の学びを活かし、保育実習ⅡⅢにむけての準備をすることができる。 【授業内容】 保育実習ⅢⅢの実習先発表 実習先理解・調べ学習、実習生紹介書の記載			
7	【到達目標】 実習日誌の意義、書き方について理解する事ができる。 【授業内容】 エピソード記録の練習	15	【到達目標】 施設実習の学びを活かし、保育実習ⅡⅢにむけての準備をすることができる。 【授業内容】 保育実習ⅡⅢの実習準備(オリエンテーション準備、実習の目標)			
8	【到達目標】 実習における配慮事項を理解し、実習準備に取り組むことができる。 【授業内容】 実習における配慮事項の確認、実習日誌の記載、部分実習の準備	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点 = A評価 点数 89~80点 = B評価 点数 79~70点 = C評価				
【特記事項		点数 59点	80点=D評価 以下=F評価 96に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名(英)	保育実践演習	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	平岡 麻依子
()	Professional skill	授業	演習	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	烘日	時間	30	曜日·時間	月曜 2限

公立保育所に長年勤務し、0歳児から5歳児までの保育に携わる。日々の保育の中で、一人ひとりの成長を促す保育活動を行うとともに、行事の企画運営も行ってきた。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目では、子どもへの関わり方や保育活動の計画・実践について学びます。実技やグループワークを通じて、保育の楽しさを体感しながら、実践力を身につけます。自ら考え、解 決策を導いていく経験、相手の意見に耳を傾けともに作り上げていく経験を重ね、保育現場で大切なチームワークを養ってほしい。

【到達目標】

①保育士として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。②保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か、多様な視点から考察する力を習得する。 ③自己の課題を明確化し、保育に必要な基礎的な資質、能力を定着させる。

令和5年度:	斗書・教材・参考書】 最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン/幼稚園教育要 保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)	【授業外に	おける学習】	
	授 業 概 要	回	授 業 概 要	
1	【到達目標】 授業の目的と進め方を理解し、挨拶や自己紹介の方法を習得することができる。 【授業内容】 授業の概要説明、挨拶と自己紹介の方法、グループワーク①「理想の保育	9	【到達目標】 エプロンシアターの特徴と活用方法を理解し、アイデアを出す力を養うことができる。 【授業内容】 エプロンシアターの基礎知識、テーマ決定、アイデア出し、デザイン決定。	
	園を考えよう!」 【到達目標】 糊・ハサミの安全な使用方法と子どもへの効果的な伝え方を理解できる。		【到達目標】 エプロンシアターの制作を通じて表現力と創造力を育むことができる。	
2	【授業内容】 糊・ハサミの特性、誤使用時のリスク、伝え方の工夫を考え、そのような制作ができるか案を出す。	10	【授業内容】制作活動。	
	【到達目標】 糊を使った制作活動の指導案を作成し、実践する力を養うことができる。		【到達目標】 エプロンシアターの制作を通じて表現力と創造力を育むことができる。	
3	【授業内容】 指導案作成、制作活動、制作物の発表。	11	【授業内容】 制作活動。	
	【到達目標】 ハサミを使った制作活動の指導案を作成し、実践する力を養うことができる。		【到達目標】 エプロンシアターの制作を通じて表現力と創造力を育むことができる	
4	【授業内容】 指導案作成、制作活動、制作物の発表。	12	【授業内容】 仕上げ作業、発表準備。	
	【到達目標】 散歩の目的と、楽しく安全な散歩の仕方を知ることができる。		【到達目標】 エプロンシアターの指導案を作成し、実践に備える。	
5	【授業内容】 実際に道を歩き、危険箇所の確認や子どもの目線での発見。	13	【授業内容】 指導案作成、グループ内発表リハーサル。振り返り。	
	【到達目標】 散歩マップを作成し、実践する力を養うことができる。		【到達目標】 エプロンシアターを実践し、表現力と指導力を発揮することができる。	
6	【授業内容】 散歩マップの作成。発表。	14	【授業内容】 定期試験実技発表①	
	【到達目標】 梅雨の制作を取り入れた保育内容をデザインすることができる。		【到達目標】 エブロンシアターを実践し、表現力と指導力を発揮することができる。	
7	【授業内容】 制作内容を決め。ねらいのある保育計画づくり。	15	【授業内容】 定期試験実技発表②	
	【到達目標】 指導案に沿って制作活動を実践し、指導力を発揮することができる。	【評価につ		
8	【授業内容】 中間試験	筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 〇成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価		
【特記事項	[]	点数 59点	80点=D評価 以下=F評価 %に満たない場合はE評価(特別補講を実施)	

科目名(英)	選択ゼミ【児童養護】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	角田、中村、鬼海、苅部
(50)	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	供白	時間	UU	曜日·時間	金曜 1·2限

大学、専門学校等で児童福祉を専攻し、指導員(保育士)からチームリーダーを経て、主任として専門職を兼任し、児童養護施設で10年以上勤務している。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

施設種別、職種領域について、基礎知識の習得、法制度の理解に加え、担当教員の経験に基づいた視点から、社会的養護の現状と課題に触れていく。 担当教員が現場で身につけた経験を語ることにより、児童養護施設の実態が理解でき、学生の知的探求心に働きかけながら、実践的学びを展開する。 児童養護施設の見学及び、ボランティアを通して、施設職員の資質や姿勢を理解し、実践に活かせる技術を習得を目指す。

【到達目標】

施設種別、職種領域についての基礎的な学びを深める。児童養護施設の現場に即した学びの中で、現状と課題を理解する。 理論や知識に伴う技術の習得、児童養護施設職員に求められる資質、姿勢を理解する。自己分析により、適性を見極める。

【使用教科	斗書・教材・参考書】	【授業外に	おける学習】
	・コーグ・・フーマー ・記をテーマとした視聴教材(検討中)	2.2.3.4.1.2	
	授業概要	0	授 業 概 要
回	按 耒 僦 安 【到達目標】	Ш	
1	社会的養護の基礎を理解を深める。 【授業内容】	9	児童養護施設入所児童に対する関わりについて理解を深める。 【授業内容】
	児童養護施設江南の取り組みを基に、社会的養護の基礎を学び施設の役割について学びを深める。 【到達目標】		「保護的体験を積み重ねる」を題材として、対話的方法を用いて、検討する。 【到達目標】
	社会的養護における権利擁護について学びを深める。		しまり建日 (赤) 児童養護施設入所児童に対する関わりについて理解を深める。
2	【授業内容】 「虐待はなぜ起こるのか」を題材に意見交換を行う。 「権利擁護について」を題材にディスカッションを行う。	1 0	【授業内容】 保護から、施設入退所まで生活を想定し、当事者としての不安や求める支援を対話的方法を用いて、検討する。
	【到達目標】		【到達目標】
_	児童養護施設における機関連携について学びを深める。	1 1	児童養護施設入所児童に対する関わりについて理解を深める。
3	【授業内容】 各機関の設置目的を学び、「児童養護施設における機関連携とは」を題材に ディスカッションを行う。	1 1	【授業内容】 施設退所後の社会生活について、どのようなサポートが必要となるか、対話 的方法を用いて、検討する。
	【到達目標】		【到達目標】
4	児童養護施設の現状について理解を深める。	1 2	個別化の考え方について理解を深める。
4	【授業内容】 児童養護施設を取り扱ったドキュメンタリーを視聴し、背景、隠れたメッセージなどディスカッションを通して考えを深める。	1 2	【授業内容】 個別化における支援の効果について考えてみる。
	【到達目標】		【到達目標】
E	児童の施設入所における背景について理解を深める。	1 3	施設における児童の生活支援について理解する。
5	【授業内容】 「施設入所の理由とは」を題材に考えられる入所理由について、ディスカッションを行う。	13	【授業内容】 起床から、就寝までの具体的な生活支援について、児童養護施設江南における「生活支援マニュアル」を基に学びを深める。
	【到達目標】		【到達目標】
6	施設入所児童について理解を深める。	1 4	児童養護施設江南を訪問し、施設の現状を理解する。
O	【授業内容】 入所児童の特性について学び、「特性に合わせた関わり」について、対話的 方法を用いて検討する。	1 4	【授業内容】 児童養護施設江南で行われている生活支援を体験することで、現状の理解 を深める。
	【到達目標】		【到達目標】
7	不登校児童の背景と心的状態を学ぶ。	1 5	前期の授業を振り返り、学びを深める。
<i>'</i>	【授業内容】 「不登校の原因とは」を題材に考えられる不登校の理由について、ディスカッションを行う。	1.0	【授業内容】 前期振り返り記述式試験 グループディスカッション・グループ発表
	【到達目標】	【評価につ	いて]
8	社会的養護の課題と現状を踏まえた児童養護施設の概要を理解する 【授業内容】 記述式試験 グループディスカッション・グループ発表	〇成績評価 点数100~9 点数 89~8 点数 79~7	0点=A評価 0点=B評価 0点=C評価
【特記事項	<u>j</u>	点数 59点	0点=D評価 以下=F評価 %に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

科目名(英)	選択ゼミ【障がい】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	古川みどり
(2)	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	00	曜日·時間	金曜 1·2限

保育士、児童発達支援管理者、施設長、現保育所等訪問支援員として、様々な子どもの保育・支援及び児童発達支援センターの施設運営・支援に携わる経験をもつ。

【授業の学習内容】(**どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか**)

本科科目は選択制ゼミ形式での特色を活かし、学生が主体的に学習できる様、現場で活きる学びや現場で役立つ学びを行う。一人ひとりの個性・特性等を理解し、子ども、その人の良さ、持ち味から 支援をしていく視点を養い、ポジティブに捉える姿勢を学んでいく。ディスカッションを通し、自分の意見を発信したり、相手の意見を聞くことで現場でのチームで行う支援や連携・協働に繋げる学びをし ていく。現場職員の講義を交えながら、障がい児保育や支援の在り方について理解を深める。授業を通し、自分の大切にしたい支援関わり保育に出会い、学びを深めていってほしい。

【到達月標】

- ・障がい特性等を理解し、その援助や関わり方、配慮等について多様な意見、視点を交わしながら、自らの支援、保育をイメージし、つくる事ができる。 ・障がいある人・子どもが主体的に生活・遊びに参加し自ら体験経験をしながら、生活するカや学びにむかう力を育む環境構成を行う。 ・様々な福祉の形態を知り、学びを深める。

医用软件	4書・教材・参考書】	【授業外に	おける学習】
童発達	支援ガイドライン ・保育所保育指針 ・適時配布	施設見学等	
回	授 業 概 要	□	授 業 概 要
	【到達目標】		【到達目標】
1	・年間の授業をイメージする。~他者の意見に触れる。 ・自己認識・自己理解から他者を理解する視点を知る。	0	・具体的な援助や支援(手立て)を知り、理解する。
1	【授業内容】	9	【授業内容】
	年間授業の説明 自分を知る、他者を知る~ワーク・グループディスカッション		特別講師予定
	【到達目標】		【到達目標】
2	・障がい児や障がい者を取りまく社会の情勢について理解する。 ・児童発達支援ガイドラインについて理解する。	1 0	実習に対しての留意点、施設について学び、目的意識をもち、自身の目 見出す。
۷	【授業内容】 児童発達支援ガイドラインについて~読み合わせ・ディスカッション 現在の障がい児・者を取りまく現状について	10	【授業内容】 特別講師予定
	【到達目標】		【到達目標】
2	・様々な施設形態、支援を知る	1 1	・実習を通し、学んだことの振り返りをする。
3	【授業内容】	1 1	【授業内容】
	特別講師予定・併設園施設長等		実習後の振り返り、まとめ、発表。
	【到達目標】		【到達目標】
4	発達障がいの特性を学び、理解する。①	1.0	園や施設での生活・遊びから得る発達を学ぶ。 感覚統合を学び、理解する。
4	【授業内容】	1 2	【授業内容】
	乳幼児期・未就学児の特性理解と支援の方針・理念について学ぶ。 事例検討・ワーク		・様々な特性や特徴の理解と遊びとそれに対するスキルについて学びを める~グループワーク
	【到達目標】		【到達目標】
_	発達障がいの特性を学び、理解する。② ニュース、事例をもとに各グループで支援・保育の内容を考える。		施設見学・児童発達支援センターつむぎ浦和美園
5	【授業内容】	1 3	【授業内容】
	乳幼児期・未就学児の特性理解と支援の方針・理念を理解し、支援の方法 を検討〜発表、共有する。事例を通し、子どもの気持ち、背景を感じ、支援保 育をイメージする。		・施設見学を通し、環境(人的・物的)の重要性を知る。 個々への支援・関わりの工夫、合理的配慮の視点を学ぶ。 スタッフとの交流。
	【到達目標】		【到達目標】
6	障がいのある人、子どもの周りにある施設、社会的資源・サポートの仕組みを知る。理解する。	1 4	・施設見学を通して学んだ環境構成について考えをまとめる・
O	【授業内容】	1 4	【授業内容】
	障がいのある人の福祉の仕組みについて 事例から必要なサポートをイメージする~ディスカッション		環境について自身の考えをまとめる。 定期試験グループでの発表のまとめ。
	【到達目標】		【到達目標】
7	・障害特性等への理解と自身の願いを見出す①	1 -	これまでの学んだことを理解し、自身の考えをまとめる。
7	【授業内容】	1 5	【授業内容】
	障害特性等理解し、自身の考えをまとめる。 グループディスカッション		定期テスト・解説 障害児・者にとっての環境について発表。
	【到達目標】	【評価につ	いて
8	・障害特性等への理解と自身の願いを見出す②		よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
0	【授業内容】	〇成績評価 点数100~9	i 00点=A評価
	・障害特性等理解し、自身の考えをまとめる。~発表 中間試験	点数 89~8	30点=B評価
	丁印印料が		70点=C評価 60点=D評価

科目名(英)	選択ゼミ【子育て】 Seminar for professional training	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	河野 亮子
()()	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	烘日	時間	00	曜日・時間	金曜 1·2限

幼稚園、保育所での30年余りの教育、保育の現場経験がある。また、その経験を活かし、専門学校講師を20年余り務める。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、施設種別・職種領域による選択制ゼミ形式教育により、現場で役立つ特技的な科目の履修により、学生が主体的に現場力を養う。 幼稚園教諭、保育士資格を有する教員が、乳幼児保育、教育の現場経験を活かし、学生とともに子育て支援ひろばの運営を通じて、様々な子ども達や保護者と関わる方法や、専門知識、技術・対人援助力を養う為の授業を行う。

【到達目標】

・施設種別、職種領域についての基礎的な理解を深め、学生自らが課題をもち主体的に学ぶことができる。

【使用教科書・教材・参考書】 5要な資料はその都度教員が配付する R育運営を実践するにあたり特に見出しなみに留意する			【授業外における学習】 学生は実践日の2週間前までに保育計画指導案の下書きと活動内容の具体案を提出当教員の指導を受けること。					
	授 業 概 要	回	授 業 概 要					
1	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 エンゼルキッズの理解・グループ編成・スケジュール確認・実施計画	9	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応環境構成・振り返りの記述					
2	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 実施計画(グループワーク)	10	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対環境構成・振り返りの記述					
3	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 環境整備をし模擬保育を通して、エンゼルキッズの運営をイメージする	11	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対は環境構成・振り返りの記述					
4	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と専例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応環境構成・振り返りの記述	12	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対環境構成・振り返りの記述					
5	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と専例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応環境構成・振り返りの記述	13	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対環境構成・振り返りの記述					
6	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と専例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応環境構成・振り返りの記述	14	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対環境構成・振り返りの記述					
7	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と専例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応環境構成・振り返りの記述	15	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対 環境構成・振り返りの記述					
8	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応環境構成・振り返りの記述	実技試験に 〇成績評価 点数100~ 点数 89~ 点数 79~	 実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=日評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価					

科目名(英)	幼児体育指導法	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	飯塚 洋一
(英)	Instruction skills for child sports	授業	講義	総単位	30	開講区分	前期
学科・コース	保育士科	形態	神我	時間	30	曜日·時間	木曜 1限

幼児体育指導員。保育園園長。

【授業の学習内容】(**どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか**)

幼児体育指導員として幼児期の体育指導に携わり、様々な環境下でも、安全管理、環境設定を整え、幼児の心身の発達に合わせた運動処方を実践。また、保育園園長として保育 所保育指針の実践について常に保育を管理運営を実践している。この経験を活かし、領域「健康」のねらいを幼児体育を通して達成する視点を育む。授業では、基本的な知識技術 を体験的に学ぶ環境をつくり、幼児体育の面白さに興味を持ち、その体験を活かした指導法を自ら体現できる方法を体感する。

【到達月標】

- ・子どもの発達特性を理解しながら保育現場やスポーツ現場で、運動指導を行うための基本的な理論や実践方法を理解することができる。 ・身近な道具や歌・手遊びに合わせた演習や配慮を必要とする子どもへの運動指導法について指導計画を立てることができる。

自作テキ	スト				
□	授 業 概 要		授 業 概 要		
1	【到達目標】 幼児体育の概要を知り、指導者とはどうあるべきか?を言語化する。また、 幼児体育の基礎と徒手運動運動の基本指導を知る。 【授業内容】 授業ガイダンス。幼児体育の意義について。指導者像を考える。幼児体育 の基本知識、徒手運動の展開、補助方法を知り体感する。	9	【到達目標】 幼児期の発達に応じた水泳指導の基礎知識と基礎技術、安全管理について知る。 【授業内容】 水泳時の安全管理、補助方法など環境設定とともに救急法についても触る。基本的な段階指導の手順を知り体感する。		
2	【到達目標】 指導者としての基本を知る。また、幼児体育の基礎と陸上運動の基本指導 を知る。 【授業内容】 指導者としての基本を知る。幼児期の心身の発達の基本や特徴を再認識す る。幼児体育の基本知識、陸上運動の展開、補助方法を知る。	10	【到達目標】 幼児体育の基礎と鉄棒運動の基本指導を知る。 【授業内容】 幼児体育の基本知識、技術、鉄棒運動の展開、補助方法を知り体感する		
3	【到達目標】 保育と幼児体育について考え自分なりの意見を持つ。また、幼児体育の基礎とマット運動の基本指導を知る。 【授業内容】 保育所指針で幼児体育を見て分析する。幼児体育の基本知識、技術、マット 運動の展開、補助方法を知り体感する。	11	【到達目標】 身近な物品(タオル)を使用した運動の基本と段階指導、安全管理、補助 ついて知る。 【授業内容】 幼児体育の基本指導、タオルを利用した運動の展開、補助方法を知り体 する。		
4	【到達目標】 保育と幼児体育について考え自分なりの回答を持つ。また、幼児体育の基礎と跳び箱運動の基本指導を知る。 【授業内容】 保育所指針で幼児体育を見て分析する。幼児体育の基本知識、技術、平跳び箱運動の展開、補助方法を知り体感する。	12	【到達目標】 身近な物品(新聞)を使用した運動の基本と段階指導、安全管理、補助に いて知る。 【授業内容】 幼児体育の基本指導、新聞紙を利用した運動の展開、補助方法を知りな する。		
5	【到達目標】 保育と幼児体育について考え自分なりの視点を持つ。また、幼児体育の基礎と長縄・短縄運動の基本指導を知る。 【授業内容】 保育所指針で幼児体育を見て分析する。幼児体育の基本知識、技術、長縄・短縄運動の展開、補助方法を知り体感する。	13	【到達目標】 ストーリー運動、親子体操の基本と段階指導、安全管理、補助についてる。 【授業内容】 幼児体育の基本指導、ストーリー運動、親子体操の展開、補助方法を知体感する。		
6	【到達目標】 幼児体育の基礎と布玉・ボール運動の基本指導を知る。 【授業内容】 幼児体育の基本知識、技術、布玉・ボール運動の展開、補助方法を知り体 感する。	14	【到達目標】 運動会の基本的な種目と安全管理と環境設定について知る。 【授業内容】 運動会の基本的な種目説明。種目の安全管理、補助方法について知り する。		
7	【到達目標】 幼児体育の基礎とボール(サッカー含)運動の基本指導を知る。 【授業内容】 幼児体育の基本知識、技術、ボール(サッカー含)運動の展開、補助方法を 知り体感する。	15	【到達目標】 定期試験と授業の振返りをして、指導者のあり方についてイメージを持ち 幼児体育の目的を再確認する。 【授業内容】 定期試験と実施後、回答解説。		
8	【到達目標】 中間試験及び鬼ごっこ、ゲーム運動の基本指導を知る。 【授業内容】 中間試験と終了後、回答解説。鬼ごっこ、ゲーム運動の展開、安全管理方 法を知り体感する。	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 〇成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価			
特記事	項】 きる服装(汚れてもよい)、シューズ等を準備。	点数 59点	30点=U評価 以下=F評価 96に満たない場合はE評価(特別補講を実施)		

科目名	子どもの理解と援助	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	丑久保 行紀
(英)	Understanding and care for child	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	澳百	時間	30	曜日·時間	水曜 5限

児童養護施設の職員として15年の勤務経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

保育現場において、子どもや保護者に対する理解や支援に活かせるよう、実践・体感的に学びを深めていく。グループワークやディスカッションを通じてコミュニケーションを図り、自己の強みや課題を知り、他者の個性や考えを受容・共感できることをねらいとする。また、職場を想定し、チームワークや協力体制の強化、その大切さについても学習する。

【到達目標】

- ・発達理論等の心理的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 ・実証的研究により明らかにされてきた、子どもの発達過程を学ぶ。 ・子どもの学びと保育の関連性について理解する。

	科書・教材・参考書】 保育シリーズ®保育の心理学」中央法規	【授業外に	おける学習】				
回	授 業 概 要		授 業 概 要				
	【到達目標】 子どもの発達の理解とその意義について理解する。		【到達目標】 認知の発達①認識の基礎				
1	【授業内容】 保育実践の基盤は子ども理解にあることを理解し、発達に関しての原理を学ぶ。	9	【授業内容】 認知の発達に関する基礎知識の獲得。				
	【到達目標】 子どもの発達と環境		【到達目標】 認知の発達②数と形				
2	【授業内容】 子どもの発達と環境との関係に関する理論的背景を学ぶ。 子どもの発達と環境をめぐる現代的課題について触れる。	10	【授業内容】 数量概念ならびに形の認識について学ぶ。				
	【到達目標】 発達観、子ども観と保育観		【到達目標】 認知の発達③言葉と文字				
3	【授業内容】 価値観を自覚することの重要性を学び、価値観の多様性や課題について考える。	11	【授業内容】 話し言葉と書き言葉の発達過程を学ぶ。				
	【到達目標】 保育実践の評価		【到達目標】 乳幼児期の学びにかかわる理論				
4	【授業内容】 評価の分類と評価の方法をふまえ、保育実践における評価について考え る。	12	【授業内容】 心理学的な「学び」にかかわる理論を学ぶ。				
	【到達目標】 社会情動的発達①自己と感情		【到達目標】 乳幼児期の学びの過程と特性①認知的学び				
5	【授業内容】 感情の分化について	13	【授業内容】 学びを通して、子どもが身に着ける知識について考える。				
	【到達目標】 社会情動的発達②他者理解		【到達目標】 乳幼児期の学びの過程と特性①社会情動的学び				
6	【授業内容】 他者とどのように関わり、自己や社会の理解を深めていくのか	14	【授業内容】 子どもの可能性をみる保育実践への視野を広げる。				
	【到達目標】 社会情動的発達③他者とのかかわり		【到達目標】 9回~14回に習得した知識・理解度の確認				
7	【授業内容】 自他とのかかわりのなかで、社会情動的スキルの発達過程について考える。	15	【授業内容】 定期試験				
	【到達目標】 1回~7回目までに習得した知識・理解度の確認	【評価につ	」 いて】 表による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。				
8 【授業内容】 中間テスト			○成績評価				
特記事項	」 類】	点数 69~6 点数 59点	30点=D評価 以下=F評価 %に満たない場合はE評価				

科目名(英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	遠藤 美樹
(50)	Childhood Care and Education	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育十科	形態	次日	時間	30	曜日・時間	水曜 6限

保育土資格、幼稚園教諭取得後、保育園で9年勤務L2024年から埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で保育内容演習、保育内容実践の授業経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。 また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。

【到達目標】

【総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれ ぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。

「幼児期ま	科書・教材・参考書】 でのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指 携型認定こども園教育・保育要領<原本>」(チャイルド社)	【授業外	こおける学習】		
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 後期の授業の概要を理解する。 分野別リーダーの役割を知り、調べた内容を発表する。 【授業内容】 オリエンテーション 分野別リーダーの役割を知る	8	【到達目標】 5歳児の保育を理解する。 卒園式、就学までの流れを知る。 【授業内容】 5歳児の保育について		
2	【到達目標】 異年齢保育を導入している保育園の導入の仕方や生活を知り理解を深める。 【授業内容】 異年齢保育を知る	10	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポートスケジュール表作成 学習レポート作成		
3	【到達目標】 ねらいを持ってスケッチブックシアターを作成する。 対象年齢や季節に合った内容を考える。 【授業内容】 スケッチブックシアター作成	11	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成		
4	【到達目標】 対象年齢や季節に合ったスケッチブックシアターを発表する。 わらべうたを行う意味を理解し、実践する。 【授業内容】 スケッチブックシアター発表 わらべうたを知る、実践	12	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成		
5	【到達目標】 グループで対象年齢に合った運動会の競技を考える 正しい言葉遣いで分かりやすく行事企画書を作成する 【授業内容】 運動会行事企画書作成	13	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成・発表練習		
6	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	14	【到達目標】 深めた学びを正しい言葉で相手にわかりやすく伝える。 【授業内容】 定期試験(演習)→学習レポート発表		
7	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	15	【到達目標】 定期試験の内容を振り返り、学んで楽しかったことなどを発表し共感し合う。共に歩んできた仲間と学び合えたことを喜ぶ。 【授業内容】 定期テストの振り返り・グループワーク		
8	【到達目標】 行事企画書の通りに運動会の競技を行う 反省・感想から自信の課題を客観的に捉えることができる 【授業内容】 中間試験(演習)→運動会	筆記試験に ○成績評価 点数 100~ 点数 89~ 点数 79~	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 80~80点=B評価 点数 79~70点=C評価		
【特記事項	頁]	点数 59点	60点=D評価 ね以下=F評価 0%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)		

科目名(英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	川村 美穂・浅子 元
(50)	Childcare contents	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	戌 百	時間	30	曜日·時間	月曜 5限

保育者養成校にて23年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を15年行う。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、1年次に習得した基礎的なピアノの実力を基に、実習で使用する「季節の歌」の習得、リズム遊び・リトミックの初歩の段階の指導ができるように学ぶ。また、オペレッタの 製作と発表までの取り組みを通じて、保育内容の充実や保育者の役割について総合的に学ぶ。

【到達月標】

- 保育現場の実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。「発表会」を作り上げ、各役割を学ぶ。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を習得する。

	科書・教材・参考書】 うた200」チャイルド社		- おける学習】 キャスト)に応じた自宅での練習は必須。2026年2月2日(月)に地域に公開す
	プログログライン (エルピアノ教則本」全音楽譜出版社		ヤマストバールした日もでの練音は必須。2020年2月2日(月)に地域に公開9 1夕発表会を開催する予定。
回	授 業 概 要		授 業 概 要
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い、後期で学習する内容と年間到達目標を理解する。保育 の現場で取り上げられるオペレッタのマネジメントを学ぶ。	9	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。
1	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」内容の理解。	,	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。製作班の確認。
2	【到達目標】 オペレッタ活動 保育所・幼稚園におけるオペレッタ活動について。「実際に 演じる」ことで理解することとは何か。	1.0	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。
Ζ	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)		【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・・練習・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。オペレッタ発表会のチラシ作成。
2	【到達目標】 オペレッタ活動 保育所・幼稚園におけるオペレッタ活動について。「実際に 演じる」ことで理解することとは何か。	1 1	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。
3	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)	1 1	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・・練習・・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。製作班の修正。
4	【到達目標】 オペレッタ活動 保育所・幼稚園におけるオペレッタ活動について。「実際に 演じる」ことで理解することとは何か。	1.0	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。
4	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)	1 2	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・うた、ダンス、フォーメーション演出。オペレッタ発表会当日の流れ確認。
_	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。製作物品(背景 画、衣装、小物など)の重要性の理解。		【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。
5	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習うた、ダンス、フォーメーション、演出。	1 3	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・うた、ダンス、フォーメーション演出。製作班の仕上げ。
	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。		【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。リハーサルをはして本番の流れをイメージする。
6	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)演出。製作班の会議。	1 4	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・うた、ダンス、フォーメーション演出。リハーサル。
7	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。	1.5	【到達目標】 演習系科目の集大成として、発表の場に臨み評価を得る。各人の役割を全 うする。
7	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。	1 5	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」…本番の披露をする(公開の発表会)。2026年2月2日(月)にオペレッタ発表会を開催。
	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。	【評価につ	ויכ]
8	【授業内容】 オペレッタ製作活動で各学生がグループの中でどのように貢献しているか。 振り返りと今後の対策を考える。	〇成績評価 点数100~9 点数 89~8 点数 79~	90点=A評価 80点=B評価 70点=C評価
【特記事項	Į.	点数 59点	60点=D評価 以下=F評価 196に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

科目名(英)	障害児保育 Disabled Children Instruction	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	松永 斉
()()	Disabled Children Instruction	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	/X E	時間	50	曜日·時間	月曜 6限

福祉型障害児入所施設にて10年以上勤務し、そのうち4年間児童発達支援管理責任者として社会的擁護児童の個別支援計画の作成及び移行支援を行う

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、障害児保育の基本理念や歴史的変遷について理解を深め、個々の特性を理解し、その保育の実際や援助、家庭や関係機関との連携について学ぶ。学生はこの授業を通して障害のある子どもの保育の方法を知り、包括的な支援方法を学んでほしい。多様な発達特性を理解し、生きづらさや困り感を覚える子どもの環境や周囲のネットワークづくりの重要性を知り、連携の上で活かせる計画と記録の策定方法をグループワークを通して学べるように指導する。

【到達目標】

本的と日本が、 ・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児の保育について理解する。個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 ・障害児、特別な配慮を要する子どもの保育における計画作成や援助の具体的な方法について理解する。また家庭への支援や関係機関との連携を理解する。 ・障害児、特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。

【使用教	科書・教材・参考書】		における学習】 を定期的にまとめ、学びを確かめる習慣を身につけること。			
	授 業 概 要		授業概要			
1	【到達目標】 前期授業の振り返り 後期の授業内容を知り見通しを持つことができる。 【授業内容】 障害児に関わる仕事をしてみて 障害のある子どもの地域社会への参加・包容(インクルージョン)	9	【到達目標】 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の 連携・協働 【授業内容】 児童発達支援センターにおける支援の実際 中間テスト			
2	【到達目標】 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際 【授業内容】 子ども同士の関わりと育ち合い	10	【到達目標】 小学校等との連携、就学に向けて 【授業内容】 就学の流れ 障害のある子どもが学ぶ場			
3	【到達目標】 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際 【授業内容】 子どもたちのとらえ方と関わり方	11	【到達目標】 小学校等との連携、就学に向けて 【授業内容】 小学校との円滑な連携			
4	【到達目標】 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働 【授業内容】 障害児保育における計画 個別の(教育)支援計画と個別の指導計画	12	【到達目標】 障害児保育の現状と課題および場面事例 【授業内容】 保健・医療における現状と課題 福祉・教育における現状と課題			
5	【到達目標】 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働 【授業内容】 個別の(教育)支援計画と個別の指導計画 記録と評価	13	【到達目標】 障害児保育の現状と課題および場面事例 【授業内容】 支援の場の広がりとつながり			
6	【到達目標】 保護者や家族に対する理解と支援 【授業内容】 保育所保育指針における保護者支援 子どもの障害についての親の障害受容	14	【到達目標】 支援事例 【授業内容】 支援事例からみる実際の対応			
7	【到達目標】 保護者間の交流や支え合い 【授業内容】 障害児の保護者間の交流	15	【到達目標】 これからの障害児保育を学ぶ 【授業内容】 定期試験 少子高齢化と障害児保育			
8	【到達目標】 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の 連携・協働 【授業内容】 障害児支援制度の理解 障害児支援(関連する各種機関の役割	筆記試験/ 〇成績評/ 点数100~ 点数 89~	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点 = A評価 点数 89~80点 = B評価 点数 79~70点 = C評価			
【特記事	項]	点数 69~ 点数 59点	√60点=D評価 点以下=F評価 10%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名(英)	子育て支援 Learning for Child care support system	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	長崎 しのぶ
	Learning for Offild Care support system	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	次日	時間	30	曜日·時間	月曜 7限

幼稚園や認定こども園で幼稚園教諭・保育教諭として幼児教育や乳児保育に携わり、保育現場での保護者対応や子育て支援の経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目では、子育て支援についての理解を深め、具体的な事例をもとに支援の手立てを検討する。学生は本科目を履修し、子育て家庭の実践的な支援方法と理解の視点を学び、現場に活かせる知識と技術を習得してほしい。事例やグループワークを通して多様化する支援の必要性と保育士のニーズを知り、子育て家庭への理解を深めてほしい。

【到達目標】

	科書・教材・参考書】 児教育・子ども家庭福祉辞典」ミネルヴァ書房	【授業外における学習】					
<u> </u>	授 業 概 要		授業概要				
Ш	【到達目標】	Ш	【到達目標】				
	授業の進め方を理解することができる。「夜型の生活リズムの家庭」の事例 について考察し、支援の方法を考えることができる。		「アレルギー児への医療などの対応」の事例から、連絡帳・手紙・メール等で効果的な活用を理解し文書を作成する。				
1	【授業内容】	9	【授業内容】				
	授業オリエンテーション(自己紹介・授業の内容と進め方について)		文書を活用した子育て支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
0	「おむつ外し」に悩む保護者の事例について考察し、保育所等が果たす子育 て支援の役割について考えを述べることができる。	10	「日本語を母語としない保護者」の事例から、園行事や保護者の活動場面 おける子育で支援について理解し考えを述べる。				
2	【授業内容】	10	【授業内容】				
	子育て支援の意義		行事などを活用した子育て支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
	「気になる子と気にならない保護者」の事例について考察し、保護者の状況 に配慮した支援について考えを述べることができる。		「新入園児の保護者」の事例を通して、子育て支援の意義に相応な環境性 を学び支援の方法を述べることができる。				
3	【授業内容】	11	【授業内容】				
	子育て支援の基本的論理・価値		環境を活用した子育で支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
4	「貧困家庭」の事例について考察し、個人情報の保護・秘密保持及び保育者 の専門性の活用について考えを述べることができる。		「ひろばデビューの専業主婦」の事例から、地域子育て支援拠点である保i 所の役割を理解し基本事業について考察する				
	【授業内容】	12	【授業内容】				
	子育て支援の基本姿勢		地域子育て支援における支援				
	」 日 こ人版や金年交の						
	【到達目標】 支援のプロセスについて学ぶ。「父子家庭」の事例について考察し、子育て		【到達目標】 「子どもと向き合うことに困難を感じる保護者」の事例から、入所施設におり				
_	支援に役立つコミュニケーション技法を身に付ける。	10	る支援の方法を述べることができる。				
5	【授業内容】	13	【授業内容】				
	子育て支援の基本技術		入所施設における子育で支援 				
	【到達目標】		【到達目標】				
	「虐待傾向のある母子家庭」の事例を考察し、園内の職員間の連携や子育て支援ネットワークの活用について考えを述べる。		「子どもの育ちに不安と焦りを感じる保護者」の事例から、通所施設におけ 支援方法を述べることができる。				
6	【授業内容】	14	【授業内容】				
	園内・園外との連携と社会資源		通所施設における子育て支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
	記録に必要な文体や方法について理解し、早期発見・対応のためにかつようされる記録をすることができる。		「子育て支援」について、自身の考えを明確に記述することができる。				
7	【授業内容】	15	【授業内容】				
	子育で支援に必要な記録・評価・研修		定期試験・授業の振り返り				
	【到達目標】	【評価につ	 Dいて】				
	事例を通して、保育者としてどのように保護者を支えるべきかを自身の考え を明確に記述する。		ことのでは、1000円である。 これ こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう				
8	【授業内容】	事記試験に 〇成績評価					
	中間試験・日常会話から行われる子育て支援		90点=A評価 80点=B評価				
		点数 79~	70点=C評価				
特記事項	Į)		60点=D評価 i以下=F評価				
いっぱっぱん			点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				

科目名(英)	保育実践演習	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	遠藤 美樹
()()	Professional skill	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	次日	時間	30	曜日・時間	水曜 7限

保育士資格、幼稚園教諭取得後、保育園で9年勤務し2024年から埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で保育内容演習、保育内容実践の授業経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。

【到達日標】

	斗書·教材·参考書】	【授業外における学習】					
	でのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 型認定こども園教育・保育要領〈原本〉」(チャイルド社)						
□	授 業 概 要	□	授 業 概 要				
1	【到達目標】 後期の授業の概要を理解する。 分野別リーダーの役割を知り、調べた内容を発表する。 【授業内容】 オリエンテーション 分野別リーダーの役割を知る	8	【到達目標】 5歳児の保育を理解する。 卒園式、就学までの流れを知る。 【授業内容】 5歳児の保育について				
2	【到達目標】 異年齢保育を導入している保育園の導入の仕方や生活を知り理解を深める。 【授業内容】 異年齢保育を知る	10	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポートスケジュール表作成 学習レポート作成				
3	【到達目標】 ねらいを持ってスケッチブックシアターを作成する。 対象年齢や季節に合った内容を考える。 【授業内容】 スケッチブックシアター作成	11	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成				
4	【到達目標】 対象年齢や季節に合ったスケッチブックシアターを発表する。 わらべうたを行う意味を理解し、実践する。 【授業内容】 スケッチブックシアター発表 わらべうたを知る、実践	12	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成				
5	【到達目標】 グループで対象年齢に合った運動会の競技を考える 正しい言葉遣いで分かりやすく行事企画書を作成する 【授業内容】 運動会行事企画書作成	13	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成・発表練習				
6	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	14	【到達目標】 深めた学びを正しい言葉で相手にわかりやすく伝える。 【授業内容】 定期試験(演習)→学習レポート発表				
7	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	15	【到達目標】 定期試験の内容を振り返り、学んで楽しかったことなどを発表し共感し合う。 共に歩んできた仲間と学び合えたことを喜ぶ。 【授業内容】 定期テストの振り返り・グループワーク				
8	【到達目標】 行事企画書の通りに運動会の競技を行う 反省・感想から自信の課題を客観的に捉えることができる 【授業内容】 中間試験(演習)→運動会	〇成績評価 点数100~9 点数 89~8 点数 79~	- よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。] 90点=A評価 80点=B評価 70点=C評価				
【特記事項	貞】	- 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)					

科目名(英)	選択ゼミ【児童養護】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	角田、中村、鬼海、苅部
()()	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	00	曜日·時間	金曜 1·2限

大学、専門学校等で児童福祉を専攻し、指導員(保育士)からチームリーダーを経て、主任として専門職を兼任し、児童養護施設で10年以上勤務している。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

施設種別、職種領域について、基礎知識の習得、法制度の理解に加え、担当教員の経験に基づいた視点から、社会的養護の現状と課題に触れていく。 担当教員が現場で身につけた経験を語ることにより、児童養護施設の実態が理解でき、学生の知的探求心に働きかけながら、実践的学びを展開する。 児童養護施設の見学及び、ボランティアを通して、施設職員の資質や姿勢を理解し、実践に活かせる技術を習得を目指す。

【到達目標】

施設種別、職種領域についての基礎的な学びを深める。児童養護施設の現場に即した学びの中で、現状と課題を理解する。 理論や知識に伴う技術の習得、児童養護施設職員に求められる資質、姿勢を理解する。自己分析により、適性を見極める。

	以に計力技術の自持、完里養護施設機具に水のわれる具具、安勢を理解する。					
	斗書・教材・参考書】	【授業外における学習】				
児童養護施	記設をテーマとした視聴教材(検討中) 	児童養護施	設江南の施設見学及び、講義、ボランティア			
	授業概要	回	授業概要			
1	【到達目標】 多角的な視点で職員の役割について、学びを深める。 【授業内容】 児童養護施設の役割を振り返り「チーム連携」について触れながら考えを深める。	9	【到達目標】 児童との対話について考えを深める。 【授業内容】 児童との対話について様々な場面を想定して考え、実践する。			
2	【到達目標】 施設における専門職の役割について理解する。 【授業内容】 心理士がエピソードトークを交え、役割について説明し、一問一答形式で理解を深める。	10	[到達目標] 施設の連携について理解する。 [授業内容] 実地体験を振り返り、多角的な視点で、施設の連携について考えることができるようにディスカッションを行う。			
3	【到達目標】 家族支援場面における保護者への関わりについて学ぶ 【授業内容】 具体的な事例について、ロールプレイを通して、自身の傾向を踏まえながら、対応方法を学ぶ。	11	【到達目標】 職業人として求められるスキルについて学ぶ 【授業内容】 「職業人として求められるスキル」を題材にディスカッションを行う。			
4	【到達目標】 里親の取り組み、実態について理解する。 【授業内容】 エピソードトークを交え、里親の役割を学び、一問一答形式で理解を深め、現状と課題について、ディスカッションしていく。	12	【到達目標】 アセスメントについて学ぶ 【授業内容】 ケースに必要な視点や考え方について触れる。			
5	【到達目標】 保護体験について学びを深める。 【授業内容】 自身の体験から、「安心感」が感じられる人や物、場所について語り合う。	13	【到達目標】 アセスメントから、児童を理解する 【授業内容】 具体的な事例をもとに、児童に係わる情報、課題を整理し、具体的な支援方法について検討を行う。			
6	【到達目標】 支援者としての立ち居振る舞いについて学ぶ 【授業内容】 子ども達が職員に求めることを考え、必要な支援について検討する。	14	【到達目標】 社会的養護と市町村の役割について理解する 【授業内容】 児童養護施設江南施設長による講話			
7	【到達目標】 施設職員としての資質について学ぶ 【授業内容】 児童との対峙場面についてロールプレイを通して、対応方法を学ぶ。	15	【到達目標】 児童養護施設の理解を深める(後期授業分) 職業人に求められる姿勢について学びを深める 【授業内容】 記述式試験 職業人としての心構えについてディスカッションを行う			
8	【到達目標】 「自己覚知」について学びを深める 【授業内容】 記述式試験(事前学習した内容をまとめる) 新聞記事を通して、「自己覚知」について学びを深める。	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 〇成績評価 点数 100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=O評価 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				
【特記事項						

科目名(英)	選択ゼミ【障がい】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	古川みどり
(50)	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	00	曜日·時間	金曜 1·2限

保育士、児童発達支援管理者、施設長、現保育所等訪問支援員として、様々な子どもの保育・支援及び児童発達支援センターの施設運営・支援に携わる経験をもつ。

【授業の学習内容】(**どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか**)

本科科目は選択制ゼミ形式での特色を活かし、学生が主体的に学習できる様、現場で活きる学びや現場で役立つ学びを行う。一人ひとりの個性・特性等を理解し、子ども、その人の良さ、持ち味から支援をしていく視点を養い、ポジティブに捉える姿勢を学んでいく。ディスカッションを通し、自分の意見を発信したり、相手の意見を聞くことで現場でのチームで行う支援や連携・協働に繋げる学びをしていく。現場職員の講義を交えながら、障がい児保育や支援の在り方について理解を深める。授業を通し、自分の大切にしたい支援関わり 保育に出会い、学びを深めていってほしい。

- ・障がい特性等を理解し、その援助や関わり方、配慮等について多様な意見、視点を交わしながら、自らの支援、保育をイメージし、つくる事ができる。・障がいある人・子どもが主体的に生活・遊びに参加し自ら体験経験をしながら、生活するカや学びにむかう力を育む環境構成を行う。
- ・様々な福祉の形態を知り、学びを深める。

	科書・教材・参考書】	【授業外における学習】				
官童発達	支援ガイドライン ・保育所保育指針 ・適時配布	施設見学				
	授業概要		授 業 概 要			
	【到達目標】		【到達目標】			
1	子どもの生活・遊びについて学び、それから得る効果について学ぶ。児童発達支援においての理念方針を理解する。 【授業内容】 児童発達支援ガイドライン 放課後等デイサービスガイドライン 保育所保育指針	9	地域にある障がいサポートについて調べ、グループごとにまとめる。サポートマップの作成。① 【授業内容】 調べたことをまとめる~グループごと。			
	【到達目標】		【到達目標】			
2	障がいのある人、子どもの支援を受ける際の計画~個別支援計画等について学ぶ。その目的を理解する。 【授業内容】 個別支援計画・策定会議、計画をする際の手順について	1 0	併設園施設見学を通し、環境構成や子どもとの関わり等学びを深める。 【授業内容】 施設見学 ふじみ野どろんこ保育園・つむぎふじみ野ルーム			
	【到達目標】		【到達目標】			
3	児童発達支援センターや専門機関の特色・役割を理解する。 主体的活動における効果を感じる、学ぶ。 【授業内容】 特別講師予定	1 1	保護者の障がい受容についてを知り、保護者支援・家庭支援の在り方、問わりを理解する。保育所等訪問支援について学ぶ。 【授業内容】 障がい受容について 保護者支援・家庭支援、相談支援について			
	【到達目標】		【到達目標】			
4	連携〜職員・保護者・地域・専門機関について 協働の意味、意図について ①	1 2	障がいのある子、人の環境について① 障がいある人の健康と安全を保障する形を知り、理解する。自らが生活していく力を育む環境構成について学ぶ。			
7	「授業内容」 地域にある専門機関を調べる。 障がいの支援、関係機関連携について学びを深める。		【授業内容】 障がいある人・子の環境について~施設見学振り返り。 安全な環境構成と関わり			
	【到達目標】		【到達目標】			
5	連携〜職員・保護者・地域・専門機関について 協働の意味、意図について ②	1 3	障がいのある子、人の環境について② 事例を通し、環境構成・関わりをグループごとにまとめる、共有する。			
	【授業内容】 個々調べたことを共有。 グループディスカッション・発表・他の視点に触れる		【授業内容】 ケース検討〜グループディスカッション グループディスカッション・発表・他の視点に触れる。			
	【到達目標】		【到達目標】			
	実習開始に際しての施設に対しての理解を深める。職員連携を学ぶ。		障がい児・者の環境・関わり等、テーマに沿って考えをまとめる。			
6	【授業内容】特別講師予定	1 4	【授業内容】 グループ発表準備 グループディスカッション			
	【到達目標】		【到達目標】			
7	実習後の施設の特色・特徴、課題点をまとめる。 園、施設での子どもの発達を子どもの様子から見出し、まとめる。	1 5	定期試験を通し、これまで学んだことを理解し、記述することができる。			
	【授業内容】 実習後の振り返りとまとめ。 連携と恊働についてのまとめ。		【授業内容】 定期試験~発表			
	【到達目標】	【評価につ	いて】			
8	前半授業でのまとめ。学びの振り返りを行う。 多視点に触れる。		よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。			
J	【授業内容】	点数 89~8	10点=A評価 30点=B評価			
	中間試験~発表		70点 = C評価 60点 = D評価			
(特記事項)		── 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価				

科目名(英)	選択ゼミ【子育て】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	河野 亮子 宮本 薫
(50)	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	00	曜日·時間	金曜 1·2限

幼稚園、保育所での30年余りの教育、保育の現場経験がある。また、その経験を活かし、専門学校講師を20年余り務める。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、施設種別・職種領域による選択制ゼミ形式教育により、現場で役立つ特技的な科目の履修により、学生が主体的に現場力を養う。 幼稚園教諭、保育士資格を有する教員が、乳幼児保育、教育の現場経験を活かし、学生とともに子育て支援ひろばの運営を通じて、様々な子ども達や保護者と関わる方法や、専門知識、技術・対人援助力を養う為の授業を行う。

【到達月標】

	料書·教材·参考書】		おける学習】
	はその都度教員が配付する E実践するにあたり特に見出しなみに留意する		表記の2週間前までに保育計画指導案の下書きと活動内容の具体案を提出し 指導を受けること。
□	授 業 概 要	回	授 業 概 要
1	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 エンゼルキッズの理解・グループ編成・スケジュール確認・実施計画	9	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事 例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)
2	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 実施計画(グループワーク)	10	環境構成・振り返りの記述 [到達目標] エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 [授業内容] 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述
3	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 環境整備をし模擬保育を通して、エンゼルキッズの運営をイメージする	11	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述
4	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	12	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述
5	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	13	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述
6	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	14	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述
7	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	15	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述
8	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	〇成績評価 点数100~9 点数 89~8 点数 79~7	- よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
	頁】 間で積極的なコミュニケーションを図り、情報共有や円滑な保育運営のための 意識して欲しい。	点数 59点	以下=F評価

科目名(英)	保育実習 II Institution Practical II	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉
(50)	Institution Practical II	授業	実習	総単位	80	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	天白	時間	80	曜日·時間	集中

保育士資格をもち保育所、乳児院、認定こども園等で勤務し、本校で保育士養成に携わる

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

保育所での実習を通して、保育所の役割や機能を理解し、また保育士の関わりや保育の環境について学ぶ。さらに、子どもとの関わりを通して子ども理解を深める。これまでの学 習や実習をもとに、保育士としての専門性を身につけていけるよう、実習を通して総合的に学ぶ。保育士資格をもち現場経験のある保育士科職員が、実習中の学生の様子を定期 的に把握し、実習園と連携をとりながら指導を行う。

【到達日煙】

【使用数科書·数材·参者書】 【授業外における学習】 実習日誌にその日の記録を記載し、実習園の指定する提出期限を守り提出すること。

授業概要

<内容>

- 1. 保育所の役割や機能の具体的展開
- (1)養護と教育が一体となって行われる保育
- (2)保育所の社会的役割と責任
- 2. 観察に基づく保育の理解
- (1)子どもの心身の状態や活動の観察
- (2)保育士等の援助や関わり
- (3)保育所の生活の流れや展開の把握
- 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携
- (1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
- (2)入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
- (3)関係機関や地域社会との連携・協働
- 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1)全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
- (2)作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
- 5. 保育士の業務と職業倫理
- (1)多様な保育の展開と保育士の業務
- (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理
- 6. 自己の課題の明確化

<実習にあたって>

- ・実習日は実習先の定める期間で、10日間80時間以上を行うこと。
- ・実習にあたって学校での指導をうけるとともに、実習先の指示に従いオリエンテーションをうけること。

【評価について】

学内での実習評価項目に基づき評価を行う。

〇成績評価 点数100~90点=A評価

点数 89~80点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価

点数 69~60点=D評価

59点以下=F評価

※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

健康に留意し実習に臨むこと。実習中、不測の事態があった際は自己判断になるのではなく、実習園や学校に報告・連絡・相談をすること。

科目名(英)	保育実習Ⅲ Institution Practical Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉
(50)	institution Practical III	授業	実習	総単位	80	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	天白	時間	60	曜日·時間	集中

保育士資格をもち保育所、乳児院、認定こども園等で勤務し、本校で保育士養成に携わる

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

児童福祉施設での実習を通して、施設の役割や機能を理解し、また保育士の関わりや施設の環境について学ぶ。さらに、利用者との関わりを通して利用者への理解を深める。これまでの学習や実習をもとに、保育士としての専門性を身につけていけるよう、実習を通して総合的に学ぶ。保育士資格をもち現場経験のある保育士科職員が、実習中の学生の様子を定期的に把握し、実習園と連携をとりながら指導を行う。

【到達日煙】

1. 既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等(保育所以外)の役割や機能について実践を通して、理解する。 2. 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。 3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 4. 実習における自己の課題を理解する。

【使用数科書・数材・参考書】 【授業外における学習】 実習日誌にその日の記録を記載し、実習園の指定する提出期限を守り提出すること。

授業概要

<内容>

- 1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能
- 2 施設における支援の実際

- (3)個別支援計画の作成と実践
- (4)子ども(利用者)の家族への支援と対応 (5)各施設における多様な専門職との連携・協働
- (6)地域社会との連携・協働
- 3. 保育士の多様な業務と職業倫理
- 4. 保育士としての自己課題の明確化

<実習にあたって>

- ・実習日は実習先の定める期間で、10日間80時間以上を行うこと。
- ・実習にあたって学校での指導をうけるとともに、実習先の指示に従いオリエンテーションをうけること。

【評価について】

学内での実習評価項目に基づき評価を行う。

〇成績評価 点数100~90点=A評価 点数100~90点—A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価

点数 59点以下=F評価

※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

健康に留意し実習に臨むこと。実習中、不測の事態があった際は自己判断になるのではなく、実習園や学校に報告・連絡・相談をすること。

科目名(英)	保育実習指導 II Guidane for Institution Practical	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	大山華奈
(50)	Guidane for Institution Fractical	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	30	曜日·時間	火曜 7限

保育士として現場での実務経験あり。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

、 保育業務や実習指導を経験している教員が、実習に向けた書類の書き方や教材製作などの実習準備を指導する。十分な準備を行い、実習に対する不安を解消し、自身を持って 現場実習に臨めるようにする。また、現場での学びを今後の保育に活かせるよう、十分な振り返りを行う。

【到達目標】

【使用教科·「学生·養」	『日本の表務内谷や概果に当いて実践と結び刊け程序する。 ⑤美音におい 科書・教材・参考書】 成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」 『パーフェクトガイド』	【授業外における学習】 実習における調べ学習、準備を各自で行うこと。期日を守って準備ができるように心掛けてください。				
	授 業 概 要		授 業 概 要			
ш	【到達目標】 実習に向けた心構えをし、今後のスケジュールを把握することができる。	ū	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
1	【授業内容】 授業オリエンテーション、実習ルーブリック、スケジュールの確認	9	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
	【到達目標】 保育士資格登録について理解し、手続きをする事ができる		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
2	【授業内容】 保育士資格登録について理解し、手続きをする	10	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
2	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。	11	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
3	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	11	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
4	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。	12	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
4	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	12	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
5	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。	13	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
	【授業内容】 実習前試験①筆記試験、実習日誌の点検		【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
6	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。	14	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
	【授業内容】 実習前試験②服装検査 決意表明 ★中間試験		【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
7	【到達目標】 実習の振り返りを行い、クラスメイトと共有し、学びを分かち合う事が出来る。	15	【到達目標】 自身が調べてきた内容を発表共有し、クラスメイトの発表を通して気づきを 得る。			
,	【授業内容】 実習振り返り、共有、今後の計画	13	【授業内容】 調ベ学習の発表(定期試験)			
_	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。		- よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。			
8	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成	一				
【特記事項	頁】	点数 59点	ルスニーリー 以下=F評価 196に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名(英)	保育実習指導Ⅱ Guidane for Institution Practical	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	大山華奈
	Guidane for Institution Fractical	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	/共白	時間	30	曜日·時間	火曜 7限

保育士として現場での実務経験あり。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

保育業務や実習指導を経験している教員が、実習に向けた書類の書き方や教材製作などの実習準備を指導する。十分な準備を行い、実習に対する不安を解消し、自身を持って現場実習に臨めるようにする。また、現場での学びを今後の保育に活かせるよう、十分な振り返りを行う。

【到達目標】

①保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。③既習の教科目や 保育実習 I の経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を 深める。⑤保育士の業務内容や職業倫理について実践と結び付け理解する。⑥実習における自己の課題を明確化する。

・「学生・養	斗書・教材・参考書】 成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」 『パーフェクトガイド」		こおける学習】 ・る調べ学習、準備を各自で行うこと。期日を守って準備ができるように心掛 、。			
回	授 業 概 要		授 業 概 要			
	【到達目標】 実習に向けた心構えをし、今後のスケジュールを把握することができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
1	【授業内容】 授業オリエンテーション、実習ルーブリック、スケジュールの確認	9	[授業内容] 定期試験に向けたレポート作成			
	【到達目標】 保育士資格登録について理解し、手続きをする事ができる		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
2	【授業内容】 保育士資格登録について理解し、手続きをする	10	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
3	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	11	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
4	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	12	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
5	【授業内容】 実習前試験①筆記試験、実習日誌の点検	13	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成			
	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。			
6	【授業内容】 実習前試験②服装検査 決意表明 ★中間試験	14	[授業内容] 定期試験に向けたレポート作成			
	【到達目標】 実習の振り返りを行い、クラスメイトと共有し、学びを分かち合う事が出来 る。		【到達目標】 自身が調べてきた内容を発表共有し、クラスメイトの発表を通して気づきを 得る。			
7	【授業内容】 実習振り返り、共有、今後の計画	15	【授業内容】 調ベ学習の発表(定期試験)			
	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。	【評価につ	」 しいて】 こよる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。			
8	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成	○成績評価 点数100~9 点数 89~				
【特記事』		■ 点数 69~60点 - □評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				

科目名(英)	こども体操教室 Child Cram School	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	佐藤 直美
(50)	Crilla Gram School	授業	実技	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	天仅	時間	00	曜日·時間	火曜 5.6限

幼児体育指導員として38年間携わり現在も幼稚園・保育園で指導を実施している。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

自らの目指す専門職として身につけることは何かを考えながら受講してほしい。実技がメインとなる授業のため、健康に留意し積極的に体を動かし授業に臨んでほしい。

【到達目標】

- ・子どもの健康指導及び支援のできる保育者を目指し、その指導法を身につけることができる・実践的な保育活動の準備やプログラム立案を含め習得することができる

	科書·教材·参考書】 Pどもを育てる幼児体育」(教科書)	【授業外に	おける学習】		
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要		
	【到達目標】 授業のねらいと見通しをもち期待感を膨らませる。		【到達目標】 ボール運動について理解し指導方法を知る。		
1	【授業内容】 運動領域の区分を再確認しカリキュラム作成に繋げる・様々な運動種目をしる	9	【授業内容】 ボール運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施		
	【到達目標】 徒手運動について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 ながなわ運動の特性について理解し指導方法を知る。		
2	【授業内容】 徒手運動について・徒手運動の実践・主体運動に繋げる徒手運動とは	1 0	【授業内容】 ながなわ運動の段階整理・想像性を士し膨らませたストーリーの作成と実施		
	【到達目標】 マット運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 短なわ運動の特性について理解し指導方法を知る。		
3	【授業内容】 マット運動の段階整理・想像性を膨らませるストーリの作成と実施	1 1	【授業内容】 短なわ運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施		
	【到達目標】 とび箱運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 身近な教材を使った運動遊びを理解する。		
4	【授業内容】 とび箱運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施	1 2	【授業内容】 身近な教材(新聞紙)を使った運動遊びを考えて実践		
	【到達目標】 平均台運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 リズム運動(ダンス・チアダンス)の特性について理解し指導方法を知る。		
5	【授業内容】 平均台運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーを作成と実施	1 3	【授業内容】 リズム運動の目的を知り、演技を作成し実施		
	【到達目標】 鉄棒運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 野外活動か幼児に与える影響について理解する。		
6	【授業内容】 鉄棒運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施	1 4	【授業内容】 幼児に必要な野外活動体験について考える		
	【到達目標】 布玉運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 カリキュラムを作成する。		
7	【授業内容】 布玉運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施	1 5	【授業内容】 作品発表・注意点についての解説		
	【到達目標】 プール(水泳)指導の特性について理解し指導方法を知る。	【評価につ			
8	【授業内容】 水泳指導の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施・段階に 応じた指導方法	点数 79~70点=C評価			
【特記事	頁】	点数 59点	60点=D評価 以下=F評価 196に満たない場合はE評価(特別補講を実施)		

科目名	子どもの理解と援助	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	丑久保 行紀
(英)	Understanding and care for child	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	澳百	時間	30	曜日·時間	水曜 5限

児童養護施設の職員として15年の勤務経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

保育現場において、子どもや保護者に対する理解や支援に活かせるよう、実践・体感的に学びを深めていく。グループワークやディスカッションを通じてコミュニケーションを図り、自己の強みや課題を知り、他者の個性や考えを受容・共感できることをねらいとする。また、職場を想定し、チームワークや協力体制の強化、その大切さについても学習する。

【到達目標】

- ・発達理論等の心理的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 ・実証的研究により明らかにされてきた、子どもの発達過程を学ぶ。 ・子どもの学びと保育の関連性について理解する。

	科書・教材・参考書】 保育シリーズ®保育の心理学」中央法規	【授業外における学習】				
回	授 業 概 要		授 業 概 要			
	【到達目標】 子どもの発達の理解とその意義について理解する。		【到達目標】 認知の発達①認識の基礎			
1	【授業内容】 保育実践の基盤は子ども理解にあることを理解し、発達に関しての原理を学ぶ。	9	【授業内容】 認知の発達に関する基礎知識の獲得。			
	【到達目標】 子どもの発達と環境		【到達目標】 認知の発達②数と形			
2	【授業内容】 子どもの発達と環境との関係に関する理論的背景を学ぶ。 子どもの発達と環境をめぐる現代的課題について触れる。	10	【授業内容】 数量概念ならびに形の認識について学ぶ。			
	【到達目標】 発達観、子ども観と保育観		【到達目標】 認知の発達③言葉と文字			
3	【授業内容】 価値観を自覚することの重要性を学び、価値観の多様性や課題について考える。	11	【授業内容】 話し言葉と書き言葉の発達過程を学ぶ。			
	【到達目標】 保育実践の評価		【到達目標】 乳幼児期の学びにかかわる理論			
4	【授業内容】 評価の分類と評価の方法をふまえ、保育実践における評価について考え る。	12	【授業内容】 心理学的な「学び」にかかわる理論を学ぶ。			
	【到達目標】 社会情動的発達①自己と感情		【到達目標】 乳幼児期の学びの過程と特性①認知的学び			
5	【授業内容】 感情の分化について	13	【授業内容】 学びを通して、子どもが身に着ける知識について考える。			
	【到達目標】 社会情動的発達②他者理解		【到達目標】 乳幼児期の学びの過程と特性①社会情動的学び			
6	【授業内容】 他者とどのように関わり、自己や社会の理解を深めていくのか	14	【授業内容】 子どもの可能性をみる保育実践への視野を広げる。			
	【到達目標】 社会情動的発達③他者とのかかわり		【到達目標】 9回~14回に習得した知識・理解度の確認			
7	【授業内容】 自他とのかかわりのなかで、社会情動的スキルの発達過程について考える。	15	【授業内容】 定期試験			
	【到達目標】 1回~7回目までに習得した知識・理解度の確認	【評価につ	」 いて】 表による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。			
8	【授業内容】 中間テスト	○ 成績評価 点数 100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価				
特記事項】		→ 点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価				

科目名(英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	遠藤 美樹
(50)	Childhood Care and Education	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育十科	形態	次日	時間	30	曜日・時間	水曜 6限

保育土資格、幼稚園教諭取得後、保育園で9年勤務L2024年から埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で保育内容演習、保育内容実践の授業経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。 また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。

【到達目標】

【総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれ ぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。

「幼児期ま	科書・教材・参考書】 でのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指 携型認定こども園教育・保育要領<原本>」(チャイルド社)	【授業外における学習】				
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要			
1	【到達目標】 後期の授業の概要を理解する。 分野別リーダーの役割を知り、調べた内容を発表する。 【授業内容】 オリエンテーション 分野別リーダーの役割を知る	8	【到達目標】 5歳児の保育を理解する。 卒園式、就学までの流れを知る。 【授業内容】 5歳児の保育について			
2	【到達目標】 異年齢保育を導入している保育園の導入の仕方や生活を知り理解を深める。 【授業内容】 異年齢保育を知る	10	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポートスケジュール表作成 学習レポート作成			
3	【到達目標】 ねらいを持ってスケッチブックシアターを作成する。 対象年齢や季節に合った内容を考える。 【授業内容】 スケッチブックシアター作成	11	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成			
4	【到達目標】 対象年齢や季節に合ったスケッチブックシアターを発表する。 わらべうたを行う意味を理解し、実践する。 【授業内容】 スケッチブックシアター発表 わらべうたを知る、実践	12	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成			
5	【到達目標】 グループで対象年齢に合った運動会の競技を考える 正しい言葉遣いで分かりやすく行事企画書を作成する 【授業内容】 運動会行事企画書作成	13	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成・発表練習			
6	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	14	【到達目標】 深めた学びを正しい言葉で相手にわかりやすく伝える。 【授業内容】 定期試験(演習)→学習レポート発表			
7	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	15	【到達目標】 定期試験の内容を振り返り、学んで楽しかったことなどを発表し共感し合う。共に歩んできた仲間と学び合えたことを喜ぶ。 【授業内容】 定期テストの振り返り・グループワーク			
8	【到達目標】 行事企画書の通りに運動会の競技を行う 反省・感想から自信の課題を客観的に捉えることができる 【授業内容】 中間試験(演習)→運動会	〇成績評価 点数100~ 点数 89~ 点数 79~	- こよる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 西 90点=A評価 80点=B評価 70点=ご評価			
【特記事項	頁]	点数 59点	60点=D評価 ね以下=F評価 0%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名(英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	川村 美穂・浅子 元
(50)	Childcare contents	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	戌 百	時間	30	曜日·時間	月曜 5限

保育者養成校にて23年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を15年行う。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、1年次に習得した基礎的なピアノの実力を基に、実習で使用する「季節の歌」の習得、リズム遊び・リトミックの初歩の段階の指導ができるように学ぶ。また、オペレッタの 製作と発表までの取り組みを通じて、保育内容の充実や保育者の役割について総合的に学ぶ。

【到達月標】

- 保育現場の実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。「発表会」を作り上げ、各役割を学ぶ。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を習得する。

	科書・教材・参考書】 うた200」チャイルド社		- おける学習】 キャスト)に応じた自宅での練習は必須。2026年2月2日(月)に地域に公開す		
	プログログライン (エルピアノ教則本」全音楽譜出版社		ヤマストバールした日もでの練音は必須。2020年2月2日(月)に地域に公開9 1夕発表会を開催する予定。		
回	授 業 概 要		授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い、後期で学習する内容と年間到達目標を理解する。保育 の現場で取り上げられるオペレッタのマネジメントを学ぶ。	9	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。		
1	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」内容の理解。	,	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。製作班の確認。		
2	【到達目標】 オペレッタ活動 保育所・幼稚園におけるオペレッタ活動について。「実際に 演じる」ことで理解することとは何か。	1 0	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。		
Ζ	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)	1 0	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・・練習・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。オペレッタ発表会のチラシ作成。		
2	【到達目標】 オペレッタ活動 保育所・幼稚園におけるオペレッタ活動について。「実際に 演じる」ことで理解することとは何か。	1 1	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。		
3	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)	1 1	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・・練習・・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。製作班の修正。		
4	【到達目標】 オペレッタ活動 保育所・幼稚園におけるオペレッタ活動について。「実際に 演じる」ことで理解することとは何か。	1.0	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。		
4	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)	1 2	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・うた、ダンス、フォーメーション演出。オペレッタ発表会当日の流れ確認。		
_	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。製作物品(背景 画、衣装、小物など)の重要性の理解。		【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。		
5	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習うた、ダンス、フォーメーション、演出。	1 3	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・うた、ダンス、フォーメーション演出。製作班の仕上げ。		
	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。		【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。リハーサルをはして本番の流れをイメージする。		
6	【授業内容】 「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習(うた、せりふ、動き)演出。製作班の会議。	1 4	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・うた、ダンス、フォーメーション演出。リハーサル。		
7	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。	1.5	【到達目標】 演習系科目の集大成として、発表の場に臨み評価を得る。各人の役割を全 うする。		
7	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」・・・練習・・・うた、ダンス、フォーメーション、演出。	1 5	【授業内容】「アラジン」「オズの魔法使い」「竹取物語」…本番の披露をする(公開の発表会)。2026年2月2日(月)にオペレッタ発表会を開催。		
	【到達目標】 オペレッタ活動「実際に演じる」ことで理解することとは何か。	【評価につ	ויכ]		
8	【授業内容】 オペレッタ製作活動で各学生がグループの中でどのように貢献しているか。 振り返りと今後の対策を考える。	点数 79~70点=C評価			
【特記事項	Į.	点数 59点	60点=D評価 以下=F評価 196に満たない場合はE評価(特別補講を実施)		

科目名(英)	障害児保育 Disabled Children Instruction	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	松永 斉
()()	Disabled Children Instruction	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	/X E	時間	50	曜日·時間	月曜 6限

福祉型障害児入所施設にて10年以上勤務し、そのうち4年間児童発達支援管理責任者として社会的擁護児童の個別支援計画の作成及び移行支援を行う

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、障害児保育の基本理念や歴史的変遷について理解を深め、個々の特性を理解し、その保育の実際や援助、家庭や関係機関との連携について学ぶ。学生はこの授業を通して障害のある子どもの保育の方法を知り、包括的な支援方法を学んでほしい。多様な発達特性を理解し、生きづらさや困り感を覚える子どもの環境や周囲のネットワークづくりの重要性を知り、連携の上で活かせる計画と記録の策定方法をグループワークを通して学べるように指導する。

【到達目標】

本的と日本が、 ・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児の保育について理解する。個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 ・障害児、特別な配慮を要する子どもの保育における計画作成や援助の具体的な方法について理解する。また家庭への支援や関係機関との連携を理解する。 ・障害児、特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。

【使用教	科書・教材・参考書】		における学習】 を定期的にまとめ、学びを確かめる習慣を身につけること。				
	授 業 概 要		授業概要				
1	【到達目標】 前期授業の振り返り 後期の授業内容を知り見通しを持つことができる。 【授業内容】 障害児に関わる仕事をしてみて 障害のある子どもの地域社会への参加・包容(インクルージョン)	9	【到達目標】 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の 連携・協働 【授業内容】 児童発達支援センターにおける支援の実際 中間テスト				
2	【到達目標】 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際 【授業内容】 子ども同士の関わりと育ち合い	10	【到達目標】 小学校等との連携、就学に向けて 【授業内容】 就学の流れ 障害のある子どもが学ぶ場				
3	【到達目標】 障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育の実際 【授業内容】 子どもたちのとらえ方と関わり方	11	【到達目標】 小学校等との連携、就学に向けて 【授業内容】 小学校との円滑な連携				
4	【到達目標】 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働 【授業内容】 障害児保育における計画 個別の(教育)支援計画と個別の指導計画	12	【到達目標】 障害児保育の現状と課題および場面事例 【授業内容】 保健・医療における現状と課題 福祉・教育における現状と課題				
5	【到達目標】 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働 【授業内容】 個別の(教育)支援計画と個別の指導計画 記録と評価	13	【到達目標】 障害児保育の現状と課題および場面事例 【授業内容】 支援の場の広がりとつながり				
6	【到達目標】 保護者や家族に対する理解と支援 【授業内容】 保育所保育指針における保護者支援 子どもの障害についての親の障害受容	14	【到達目標】 支援事例 【授業内容】 支援事例からみる実際の対応				
7	【到達目標】 保護者間の交流や支え合い 【授業内容】 障害児の保護者間の交流	15	【到達目標】 これからの障害児保育を学ぶ 【授業内容】 定期試験 少子高齢化と障害児保育				
8	【到達目標】 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の 連携・協働 【授業内容】 障害児支援制度の理解 障害児支援(関連する各種機関の役割	筆記試験/ 〇成績評/ 点数100~ 点数 89~	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価				
【特記事	項]	点数 69~ 点数 59点	√60点=D評価 点以下=F評価 10%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				

科目名(英)	子育て支援 Learning for Child care support system	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	長崎 しのぶ
	Learning for Offild care support system	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	次日	時間	30	曜日·時間	月曜 7限

幼稚園や認定こども園で幼稚園教諭・保育教諭として幼児教育や乳児保育に携わり、保育現場での保護者対応や子育て支援の経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目では、子育て支援についての理解を深め、具体的な事例をもとに支援の手立てを検討する。学生は本科目を履修し、子育て家庭の実践的な支援方法と理解の視点を学び、現場に活かせる知識と技術を習得してほしい。事例やグループワークを通して多様化する支援の必要性と保育士のニーズを知り、子育て家庭への理解を深めてほしい。

【到達目標】

使用教科書・教材・参考書】 保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典」ミネルヴァ書房			【授業外における学習】				
<u> </u>	授 業 概 要		授業概要				
Ш	【到達目標】	Ш	【到達目標】				
	授業の進め方を理解することができる。「夜型の生活リズムの家庭」の事例 について考察し、支援の方法を考えることができる。		「アレルギー児への医療などの対応」の事例から、連絡帳・手紙・メール等で効果的な活用を理解し文書を作成する。				
1	【授業内容】	9	【授業内容】				
	授業オリエンテーション(自己紹介・授業の内容と進め方について)		文書を活用した子育て支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
0	「おむつ外し」に悩む保護者の事例について考察し、保育所等が果たす子育 て支援の役割について考えを述べることができる。	10	「日本語を母語としない保護者」の事例から、園行事や保護者の活動場面 おける子育で支援について理解し考えを述べる。				
2	【授業内容】	10	【授業内容】				
	子育て支援の意義		行事などを活用した子育て支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
	「気になる子と気にならない保護者」の事例について考察し、保護者の状況 に配慮した支援について考えを述べることができる。		「新入園児の保護者」の事例を通して、子育て支援の意義に相応な環境性 を学び支援の方法を述べることができる。				
3	【授業内容】	11	【授業内容】				
	子育て支援の基本的論理・価値		環境を活用した子育で支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
	「貧困家庭」の事例について考察し、個人情報の保護・秘密保持及び保育者 の専門性の活用について考えを述べることができる。		「ひろばデビューの専業主婦」の事例から、地域子育て支援拠点である保i 所の役割を理解し基本事業について考察する				
4	【授業内容】	12	【授業内容】				
	子育て支援の基本姿勢		地域子育て支援における支援				
	」 日 こ人版や金年交の						
	【到達目標】 支援のプロセスについて学ぶ。「父子家庭」の事例について考察し、子育て		【到達目標】 「子どもと向き合うことに困難を感じる保護者」の事例から、入所施設におり				
_	支援に役立つコミュニケーション技法を身に付ける。	10	る支援の方法を述べることができる。				
5	【授業内容】	13	【授業内容】				
	子育て支援の基本技術		入所施設における子育で支援 				
	【到達目標】		【到達目標】				
	「虐待傾向のある母子家庭」の事例を考察し、園内の職員間の連携や子育て支援ネットワークの活用について考えを述べる。		「子どもの育ちに不安と焦りを感じる保護者」の事例から、通所施設におけ 支援方法を述べることができる。				
6	【授業内容】	14	【授業内容】				
	園内・園外との連携と社会資源		通所施設における子育て支援				
	【到達目標】		【到達目標】				
	記録に必要な文体や方法について理解し、早期発見・対応のためにかつようされる記録をすることができる。		「子育て支援」について、自身の考えを明確に記述することができる。				
7	【授業内容】	15	【授業内容】				
	子育で支援に必要な記録・評価・研修		定期試験・授業の振り返り				
	【到達目標】	【評価につ	 Dいて】				
	事例を通して、保育者としてどのように保護者を支えるべきかを自身の考え を明確に記述する。		ことのでは、1000円である。 これ こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう しゅう				
8	【授業内容】	事記試験に 〇成績評価					
	中間試験・日常会話から行われる子育て支援		90点=A評価 80点=B評価				
		点数 79~	70点=C評価				
特記事項	Į)		60点=D評価 取り下=F評価				
			(ダーー) File 0%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				

科目名(英)	保育実践演習	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	遠藤 美樹
()()	Professional skill	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	次日	時間	30	曜日・時間	水曜 7限

保育士資格、幼稚園教諭取得後、保育園で9年勤務し2024年から埼玉福祉保育医療専門学校の保育科で保育内容演習、保育内容実践の授業経験を持つ。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が計画・実践・振り返りを行い、実践的に学ぶ。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。

【到達日標】

	斗書·教材·参考書】	【授業外における学習】				
	でのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 型認定こども園教育・保育要領〈原本〉」(チャイルド社)					
□	授 業 概 要	□	授 業 概 要			
1	【到達目標】 後期の授業の概要を理解する。 分野別リーダーの役割を知り、調べた内容を発表する。 【授業内容】 オリエンテーション 分野別リーダーの役割を知る	8	【到達目標】 5歳児の保育を理解する。 卒園式、就学までの流れを知る。 【授業内容】 5歳児の保育について			
2	【到達目標】 異年齢保育を導入している保育園の導入の仕方や生活を知り理解を深める。 【授業内容】 異年齢保育を知る	10	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポートスケジュール表作成 学習レポート作成			
3	【到達目標】 ねらいを持ってスケッチブックシアターを作成する。 対象年齢や季節に合った内容を考える。 【授業内容】 スケッチブックシアター作成	11	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成			
4	【到達目標】 対象年齢や季節に合ったスケッチブックシアターを発表する。 わらべうたを行う意味を理解し、実践する。 【授業内容】 スケッチブックシアター発表 わらべうたを知る、実践	12	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成			
5	【到達目標】 グループで対象年齢に合った運動会の競技を考える 正しい言葉遣いで分かりやすく行事企画書を作成する 【授業内容】 運動会行事企画書作成	13	【到達目標】 2年間の学びを振り返り、より深く学びたいことを自ら調べ、考察し、自分の言葉でまとめることができる。 【授業内容】 学習レポート作成・発表練習			
6	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	14	【到達目標】 深めた学びを正しい言葉で相手にわかりやすく伝える。 【授業内容】 定期試験(演習)→学習レポート発表			
7	【到達目標】 グループで考えた運動会の競技の準備を行う 【授業内容】 運動会準備	15	【到達目標】 定期試験の内容を振り返り、学んで楽しかったことなどを発表し共感し合う。 共に歩んできた仲間と学び合えたことを喜ぶ。 【授業内容】 定期テストの振り返り・グループワーク			
8	【到達目標】 行事企画書の通りに運動会の競技を行う 反省・感想から自信の課題を客観的に捉えることができる 【授業内容】 中間試験(演習)→運動会	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 〇成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 89~60点=D評価				
【特記事項	貞】	■点数 69~60点=D評価 点数 59点以下=F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				

科目名(英)	選択ゼミ【児童養護】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	角田、中村、鬼海、苅部
()()	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	00	曜日·時間	金曜 1·2限

大学、専門学校等で児童福祉を専攻し、指導員(保育士)からチームリーダーを経て、主任として専門職を兼任し、児童養護施設で10年以上勤務している。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

施設種別、職種領域について、基礎知識の習得、法制度の理解に加え、担当教員の経験に基づいた視点から、社会的養護の現状と課題に触れていく。 担当教員が現場で身につけた経験を語ることにより、児童養護施設の実態が理解でき、学生の知的探求心に働きかけながら、実践的学びを展開する。 児童養護施設の見学及び、ボランティアを通して、施設職員の資質や姿勢を理解し、実践に活かせる技術を習得を目指す。

【到達目標】

施設種別、職種領域についての基礎的な学びを深める。児童養護施設の現場に即した学びの中で、現状と課題を理解する。 理論や知識に伴う技術の習得、児童養護施設職員に求められる資質、姿勢を理解する。自己分析により、適性を見極める。

	以に計力技術の自持、完里養護施設機具に水のわれる具具、安勢を理解する。					
	斗書・教材・参考書】	【授業外における学習】				
児童養護施	記設をテーマとした視聴教材(検討中) 	児童養護施	設江南の施設見学及び、講義、ボランティア			
	授業概要	回	授業概要			
1	【到達目標】 多角的な視点で職員の役割について、学びを深める。 【授業内容】 児童養護施設の役割を振り返り「チーム連携」について触れながら考えを深める。	9	【到達目標】 児童との対話について考えを深める。 【授業内容】 児童との対話について様々な場面を想定して考え、実践する。			
2	【到達目標】 施設における専門職の役割について理解する。 【授業内容】 心理士がエピソードトークを交え、役割について説明し、一問一答形式で理解を深める。	10	[到達目標] 施設の連携について理解する。 [授業内容] 実地体験を振り返り、多角的な視点で、施設の連携について考えることができるようにディスカッションを行う。			
3	【到達目標】 家族支援場面における保護者への関わりについて学ぶ 【授業内容】 具体的な事例について、ロールプレイを通して、自身の傾向を踏まえながら、対応方法を学ぶ。	11	【到達目標】 職業人として求められるスキルについて学ぶ 【授業内容】 「職業人として求められるスキル」を題材にディスカッションを行う。			
4	【到達目標】 里親の取り組み、実態について理解する。 【授業内容】 エピソードトークを交え、里親の役割を学び、一問一答形式で理解を深め、現状と課題について、ディスカッションしていく。	12	【到達目標】 アセスメントについて学ぶ 【授業内容】 ケースに必要な視点や考え方について触れる。			
5	【到達目標】 保護体験について学びを深める。 【授業内容】 自身の体験から、「安心感」が感じられる人や物、場所について語り合う。	13	【到達目標】 アセスメントから、児童を理解する 【授業内容】 具体的な事例をもとに、児童に係わる情報、課題を整理し、具体的な支援方法について検討を行う。			
6	【到達目標】 支援者としての立ち居振る舞いについて学ぶ 【授業内容】 子ども達が職員に求めることを考え、必要な支援について検討する。	14	【到達目標】 社会的養護と市町村の役割について理解する 【授業内容】 児童養護施設江南施設長による講話			
7	【到達目標】 施設職員としての資質について学ぶ 【授業内容】 児童との対峙場面についてロールプレイを通して、対応方法を学ぶ。	15	【到達目標】 児童養護施設の理解を深める(後期授業分) 職業人に求められる姿勢について学びを深める 【授業内容】 記述式試験 職業人としての心構えについてディスカッションを行う			
8	【到達目標】 「自己覚知」について学びを深める 【授業内容】 記述式試験(事前学習した内容をまとめる) 新聞記事を通して、「自己覚知」について学びを深める。	【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 〇成維評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価				
[特記事項]		- 点数 69~60点 = D評価 点数 59点以下= F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				

科目名(英)	選択ゼミ【障がい】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	古川みどり
(50)	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	00	曜日·時間	金曜 1·2限

保育士、児童発達支援管理者、施設長、現保育所等訪問支援員として、様々な子どもの保育・支援及び児童発達支援センターの施設運営・支援に携わる経験をもつ。

【授業の学習内容】(**どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか**)

本科科目は選択制ゼミ形式での特色を活かし、学生が主体的に学習できる様、現場で活きる学びや現場で役立つ学びを行う。一人ひとりの個性・特性等を理解し、子ども、その人の良さ、持ち味から支援をしていく視点を養い、ポジティブに捉える姿勢を学んでいく。ディスカッションを通し、自分の意見を発信したり、相手の意見を聞くことで現場でのチームで行う支援や連携・協働に繋げる学びをしていく。現場職員の講義を交えながら、障がい児保育や支援の在り方について理解を深める。授業を通し、自分の大切にしたい支援関わり 保育に出会い、学びを深めていってほしい。

- ・障がい特性等を理解し、その援助や関わり方、配慮等について多様な意見、視点を交わしながら、自らの支援、保育をイメージし、つくる事ができる。・障がいある人・子どもが主体的に生活・遊びに参加し自ら体験経験をしながら、生活するカや学びにむかう力を育む環境構成を行う。
- ・様々な福祉の形態を知り、学びを深める。

【使用教科書·教材·参考書】 日章発達支援ガイパライイ・保育所保育指針 ・適時配布		【授業外における学習】				
官童発達	支援ガイドライン ・保育所保育指針 ・適時配布	施設見学				
	授業概要		授 業 概 要			
	【到達目標】		【到達目標】			
1	子どもの生活・遊びについて学び、それから得る効果について学ぶ。児童発達支援においての理念方針を理解する。 【授業内容】 児童発達支援ガイドライン 放課後等デイサービスガイドライン 保育所保育指針	9	地域にある障がいサポートについて調べ、グループごとにまとめる。サポートマップの作成。① 【授業内容】 調べたことをまとめる~グループごと。			
	【到達目標】		【到達目標】			
2	障がいのある人、子どもの支援を受ける際の計画~個別支援計画等について学ぶ。その目的を理解する。 【授業内容】 個別支援計画・策定会議、計画をする際の手順について	1 0	併設園施設見学を通し、環境構成や子どもとの関わり等学びを深める。 【授業内容】 施設見学 ふじみ野どろんこ保育園・つむぎふじみ野ルーム			
	【到達目標】		【到達目標】			
3	児童発達支援センターや専門機関の特色・役割を理解する。 主体的活動における効果を感じる、学ぶ。 【授業内容】 特別講師予定	1 1	保護者の障がい受容についてを知り、保護者支援・家庭支援の在り方、問わりを理解する。保育所等訪問支援について学ぶ。 【授業内容】 障がい受容について 保護者支援・家庭支援、相談支援について			
	【到達目標】		【到達目標】			
4	連携〜職員・保護者・地域・専門機関について 協働の意味、意図について ①	1 2	障がいのある子、人の環境について① 障がいある人の健康と安全を保障する形を知り、理解する。自らが生活していく力を育む環境構成について学ぶ。			
7	任 【授業内容】 地域にある専門機関を調べる。 障がいの支援、関係機関連携について学びを深める。	1 2	【授業内容】 障がいある人・子の環境について~施設見学振り返り。 安全な環境構成と関わり			
	【到達目標】		【到達目標】			
5	連携〜職員・保護者・地域・専門機関について 協働の意味、意図について ②	1 3	障がいのある子、人の環境について② 事例を通し、環境構成・関わりをグループごとにまとめる、共有する。			
	【授業内容】 個々調べたことを共有。 グループディスカッション・発表・他の視点に触れる		【授業内容】 ケース検討〜グループディスカッション グループディスカッション・発表・他の視点に触れる。			
	【到達目標】		【到達目標】			
	実習開始に際しての施設に対しての理解を深める。職員連携を学ぶ。		障がい児・者の環境・関わり等、テーマに沿って考えをまとめる。			
6	【授業内容】特別講師予定	1 4	【授業内容】 グループ発表準備 グループディスカッション			
	【到達目標】		【到達目標】			
7	実習後の施設の特色・特徴、課題点をまとめる。 園、施設での子どもの発達を子どもの様子から見出し、まとめる。	1 5	定期試験を通し、これまで学んだことを理解し、記述することができる。			
	【授業内容】 実習後の振り返りとまとめ。 連携と恊働についてのまとめ。		【授業内容】 定期試験~発表			
	【到達目標】	【評価につ	いて】			
8	前半授業でのまとめ。学びの振り返りを行う。 多視点に触れる。		よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。			
J	【授業内容】	点数 89~8	10点=A評価 30点=B評価			
	中間試験~発表		70点=C評価 60点=D評価			
特記事項	項】		以下=F評価			

科目名(英)	選択ゼミ【子育て】	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	河野 亮子 宮本 薫
(50)	Seminar for professional training	授業	演習	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	00	曜日·時間	金曜 1·2限

幼稚園、保育所での30年余りの教育、保育の現場経験がある。また、その経験を活かし、専門学校講師を20年余り務める。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

本科目は、施設種別・職種領域による選択制ゼミ形式教育により、現場で役立つ特技的な科目の履修により、学生が主体的に現場力を養う。 幼稚園教諭、保育士資格を有する教員が、乳幼児保育、教育の現場経験を活かし、学生とともに子育て支援ひろばの運営を通じて、様々な子ども達や保護者と関わる方法や、専門知識、技術・対人援助力を養う為の授業を行う。

【到達月標】

	料書·教材·参考書】		おける学習】		
	はその都度教員が配付する E実践するにあたり特に見出しなみに留意する		表記の2週間前までに保育計画指導案の下書きと活動内容の具体案を提出し 指導を受けること。		
□	授 業 概 要	回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 エンゼルキッズの理解・グループ編成・スケジュール確認・実施計画	9	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事 例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応)		
2	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 実施計画(グループワーク)	10	環境構成・振り返りの記述 [到達目標] エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 [授業内容] 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述		
3	【到達目標】 地域子育て支援活動について理解し、エンゼルキッズ開園の準備を整えることができる。 【授業内容】 環境整備をし模擬保育を通して、エンゼルキッズの運営をイメージする	11	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述		
4	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	12	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述		
5	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	13	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述		
6	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	14	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述		
7	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	15	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述		
8	【到達目標】 エンゼルキッズを運営し、保育計画の実践、保育を通しての子ども理解と事例の考察、保護者対応等から気付きを残すことができる。 【授業内容】 運営(主活動・ピアノ・絵本の読み聞かせ・観察・お便り帳作成・保護者対応) 環境構成・振り返りの記述	実技試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100~90点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価			
	頁】 間で積極的なコミュニケーションを図り、情報共有や円滑な保育運営のための 意識して欲しい。	点数 59点	以下=F評価		

科目名(英)	保育実習 II Institution Practical II	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉
(50)	Institution Practical II	授業	実習	総単位	80	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	天白	時間	80	曜日·時間	集中

保育士資格をもち保育所、乳児院、認定こども園等で勤務し、本校で保育士養成に携わる

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

保育所での実習を通して、保育所の役割や機能を理解し、また保育士の関わりや保育の環境について学ぶ。さらに、子どもとの関わりを通して子ども理解を深める。これまでの学 習や実習をもとに、保育士としての専門性を身につけていけるよう、実習を通して総合的に学ぶ。保育士資格をもち現場経験のある保育士科職員が、実習中の学生の様子を定期 的に把握し、実習園と連携をとりながら指導を行う。

【到達日煙】

【使用数科書·数材·参者書】 【授業外における学習】 実習日誌にその日の記録を記載し、実習園の指定する提出期限を守り提出すること。

授業概要

<内容>

- 1. 保育所の役割や機能の具体的展開
- (1)養護と教育が一体となって行われる保育
- (2)保育所の社会的役割と責任
- 2. 観察に基づく保育の理解
- (1)子どもの心身の状態や活動の観察
- (2)保育士等の援助や関わり
- (3)保育所の生活の流れや展開の把握
- 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携
- (1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
- (2)入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
- (3)関係機関や地域社会との連携・協働
- 4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1)全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
- (2)作成した指導計画に基づく保育の実践と評価
- 5. 保育士の業務と職業倫理
- (1)多様な保育の展開と保育士の業務
- (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理
- 6. 自己の課題の明確化

<実習にあたって>

- ・実習日は実習先の定める期間で、10日間80時間以上を行うこと。
- ・実習にあたって学校での指導をうけるとともに、実習先の指示に従いオリエンテーションをうけること。

【評価について】

学内での実習評価項目に基づき評価を行う。

〇成績評価 点数100~90点=A評価

点数 89~80点=A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価

点数 69~60点=D評価

59点以下=F評価

※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

健康に留意し実習に臨むこと。実習中、不測の事態があった際は自己判断になるのではなく、実習園や学校に報告・連絡・相談をすること。

科目名(英)	保育実習Ⅲ Institution Practical Ⅲ	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	上條 友葉
(50)	institution Practical III	授業	実習	総単位	80	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	天白	時間	60	曜日·時間	集中

保育士資格をもち保育所、乳児院、認定こども園等で勤務し、本校で保育士養成に携わる

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

児童福祉施設での実習を通して、施設の役割や機能を理解し、また保育士の関わりや施設の環境について学ぶ。さらに、利用者との関わりを通して利用者への理解を深める。これまでの学習や実習をもとに、保育士としての専門性を身につけていけるよう、実習を通して総合的に学ぶ。保育士資格をもち現場経験のある保育士科職員が、実習中の学生の様子を定期的に把握し、実習園と連携をとりながら指導を行う。

【到達日煙】

1. 既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等(保育所以外)の役割や機能について実践を通して、理解する。 2. 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。 3. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 4. 実習における自己の課題を理解する。

【使用数科書・数材・参考書】 【授業外における学習】 実習日誌にその日の記録を記載し、実習園の指定する提出期限を守り提出すること。

授業概要

<内容>

- 1. 児童福祉施設等(保育所以外)の役割と機能
- 2 施設における支援の実際

- (3)個別支援計画の作成と実践
- (4)子ども(利用者)の家族への支援と対応 (5)各施設における多様な専門職との連携・協働
- (6)地域社会との連携・協働
- 3. 保育士の多様な業務と職業倫理
- 4. 保育士としての自己課題の明確化

<実習にあたって>

- ・実習日は実習先の定める期間で、10日間80時間以上を行うこと。
- ・実習にあたって学校での指導をうけるとともに、実習先の指示に従いオリエンテーションをうけること。

【評価について】

学内での実習評価項目に基づき評価を行う。

〇成績評価 点数100~90点=A評価 点数100~90点—A評価 点数 89~80点=B評価 点数 79~70点=C評価 点数 69~60点=D評価

点数 59点以下=F評価

※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

健康に留意し実習に臨むこと。実習中、不測の事態があった際は自己判断になるのではなく、実習園や学校に報告・連絡・相談をすること。

科目名(英)	保育実習指導 II Guidane for Institution Practical	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	大山華奈
(50)	Guidane for Institution Fractical	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	供日	時間	30	曜日·時間	火曜 7限

保育士として現場での実務経験あり。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

、 保育業務や実習指導を経験している教員が、実習に向けた書類の書き方や教材製作などの実習準備を指導する。十分な準備を行い、実習に対する不安を解消し、自身を持って 現場実習に臨めるようにする。また、現場での学びを今後の保育に活かせるよう、十分な振り返りを行う。

【到達目標】

【使用教科·「学生·養」	『日本の表務内谷や概果に当いて実践と結び刊け程序する。 ⑤美音におい 科書・教材・参考書】 成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」 『パーフェクトガイド』	【授業外に	まける学習】 る調べ学習、準備を各自で行うこと。期日を守って準備ができるように心掛け				
	授 業 概 要		授 業 概 要				
121	【到達目標】 実習に向けた心構えをし、今後のスケジュールを把握することができる。	ū	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。				
1	【授業内容】 授業オリエンテーション、実習ルーブリック、スケジュールの確認	9	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成				
	【到達目標】 保育士資格登録について理解し、手続きをする事ができる		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。				
2	【授業内容】 保育士資格登録について理解し、手続きをする	10	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成				
2	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。	11	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。				
3	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	11	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成				
4	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。	12	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。				
4	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	12	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成				
5	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。 【授業内容】	13	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。 【授業内容】				
	実習前試験①筆記試験、実習日誌の点検		定期試験に向けたレポート作成				
6	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。	14	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。				
	【授業内容】 実習前試験②服装検査 決意表明 ★中間試験	7-7	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成				
7	【到達目標】 実習の振り返りを行い、クラスメイトと共有し、学びを分かち合う事が出来る。	15	【到達目標】 自身が調べてきた内容を発表共有し、クラスメイトの発表を通して気づきを 得る。				
,	【授業内容】 実習振り返り、共有、今後の計画	13	【授業内容】 調ベ学習の発表(定期試験)				
	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。	【評価につ	・ いて】 よる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。				
8	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成						
【特記事項	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	点数 59点	50点 — Dethiii 以下=F評価 %に満たない場合はE評価(特別補講を実施)				

科目名(英)	保育実習指導Ⅱ Guidane for Institution Practical	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	大山華奈
	Guidane for Institution Fractical	授業	演習	総単位	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	/共白	時間	30	曜日·時間	火曜 7限

保育士として現場での実務経験あり。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

保育業務や実習指導を経験している教員が、実習に向けた書類の書き方や教材製作などの実習準備を指導する。十分な準備を行い、実習に対する不安を解消し、自身を持って現場実習に臨めるようにする。また、現場での学びを今後の保育に活かせるよう、十分な振り返りを行う。

【到達目標】

①保育所の役割や機能について具体的な実践を通して理解を深める。②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。③既習の教科目や 保育実習 I の経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を 深める。⑤保育士の業務内容や職業倫理について実践と結び付け理解する。⑥実習における自己の課題を明確化する。

・「学生・養	斗書・教材・参考書】 成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」 『パーフェクトガイド」		こおける学習】 る調べ学習、準備を各自で行うこと。期日を守って準備ができるように心掛 \。
回	授 業 概 要	0	授 業 概 要
	【到達目標】 実習に向けた心構えをし、今後のスケジュールを把握することができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。
1	【授業内容】 授業オリエンテーション、実習ルーブリック、スケジュールの確認	9	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成
	【到達目標】 保育士資格登録について理解し、手続きをする事ができる		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。
2	【授業内容】 保育士資格登録について理解し、手続きをする	10	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成
	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。
3	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	11	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成
	【到達目標】 実習の目的・実習内容を理解し、実習に向けて準備することができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。
4	【授業内容】 実習先の理解、実習内容の理解、部分実習・責任実習の準備	12	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成
	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。
5	【授業内容】 実習前試験①筆記試験、実習日誌の点検	13	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成
	【到達目標】 実習の準備が完了し、実習に向かう気構え・身構え・心構えができる。		【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。
6	【授業内容】 実習前試験②服装検査 決意表明 ★中間試験	14	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成
	【到達目標】 実習の振り返りを行い、クラスメイトと共有し、学びを分かち合う事が出来 る。		【到達目標】 自身が調べてきた内容を発表共有し、クラスメイトの発表を通して気づきを 得る。
7	【授業内容】 実習振り返り、共有、今後の計画	15	【授業内容】 調べ学習の発表(定期試験)
	【到達目標】 自身の興味がある分野について調べ、自身の言葉でまとめる事ができる。	【評価にご	」 ひいて】 こよる定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。
8	【授業内容】 定期試験に向けたレポート作成	〇成績評価 点数100~ 点数 89~	
【特記事項	Ď Į	点数 59点	60点=D評価 ルア=F評価 0%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)

科目名(英)	こども体操教室 Child Cram School	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	佐藤 直美
(50)	Grilla Gram School	授業	実技	総単位	60	開講区分	後期
学科・コース	保育士科	形態	天汉	時間	00	曜日·時間	火曜 5.6限

幼児体育指導員として38年間携わり現在も幼稚園・保育園で指導を実施している。

【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)

自らの目指す専門職として身につけることは何かを考えながら受講してほしい。実技がメインとなる授業のため、健康に留意し積極的に体を動かし授業に臨んでほしい。

【到達目標】

- ・子どもの健康指導及び支援のできる保育者を目指し、その指導法を身につけることができる・実践的な保育活動の準備やプログラム立案を含め習得することができる

	科書·教材·参考書】 Pどもを育てる幼児体育」(教科書)	【授業外に	おける学習】			
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要			
•	【到達目標】 授業のねらいと見通しをもち期待感を膨らませる。		【到達目標】 ボール運動について理解し指導方法を知る。			
1	【授業内容】 運動領域の区分を再確認しカリキュラム作成に繋げる・様々な運動種目をしる	9	【授業内容】 ボール運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施			
	【到達目標】 徒手運動について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 ながなわ運動の特性について理解し指導方法を知る。			
2	【授業内容】 徒手運動について・徒手運動の実践・主体運動に繋げる徒手運動とは	1 0	【授業内容】 ながなわ運動の段階整理・想像性を士し膨らませたストーリーの作成と実施			
	【到達目標】 マット運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 短なわ運動の特性について理解し指導方法を知る。			
3	【授業内容】 マット運動の段階整理・想像性を膨らませるストーリの作成と実施	11	【授業内容】 短なわ運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施			
	【到達目標】 とび箱運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 身近な教材を使った運動遊びを理解する。			
4	【授業内容】 とび箱運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施	1 2	【授業内容】 身近な教材(新聞紙)を使った運動遊びを考えて実践			
	【到達目標】 平均台運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 リズム運動(ダンス・チアダンス)の特性について理解し指導方法を知る。			
5	【授業内容】 平均台運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーを作成と実施	1 3	【授業内容】 リズム運動の目的を知り、演技を作成し実施			
	【到達目標】 鉄棒運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 野外活動か幼児に与える影響について理解する。			
6	【授業内容】 鉄棒運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施	1 4	【授業内容】 幼児に必要な野外活動体験について考える			
	【到達目標】 布玉運動の特性について理解し指導方法を知る。		【到達目標】 カリキュラムを作成する。			
7	【授業内容】 布玉運動の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施	1 5	【授業内容】 作品発表・注意点についての解説			
	【到達目標】 ブール(水泳)指導の特性について理解し指導方法を知る。	【評価につ				
8	【授業内容】 水泳指導の段階整理・想像性を膨らませたストーリーの作成と実施・段階に 応じた指導方法	点数 79~70点=C評価				
【特記事法	· []	点数 59点	60点=D評価 以下=F評価 196に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			